

2020.3.23 理事会承認
2020.3.31 評議員会承認

令和2(2020)年度

事業計画書

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会

社会福祉法人 恩賜 財団 東京都同胞援護会憲章（同援憲章）

－ 同援憲章 －

同胞援護会は、敗戦後まもなく戦時下の軍人援護会と戦災援護会の合併を機に全国組織として、日本の社会事業発展を目指して誕生しました。

やがて全国支部組織から独立し、東京都同胞援護会として、戦後の復興事業から新しい社会福祉を目標として生まれ変わりました。

発足において同胞援護会は、「同胞愛」、「四海皆兄弟」、「助け合い」の言葉を基本理念に掲げました。戦後の荒廃した社会にあつて、何よりも国民の復興に向けた精神のよりどころを高く標榜したものでした。

同胞援護会は、戦後の混乱期から幾多の時代の変遷にあつても、変わることなく社会福祉の道を、多くの人々とともに歩んできました。

この精神は現在もなお同胞援護会の理念として、強く受け継がれているものであります。

いずれの時代にあつても福祉は普遍的なものであり、私たちは常に地域の皆様とともに、基本的人権の思想を何よりも尊重し、真の福祉を目指して迷うことなく進んでまいります。

東京都同胞援護会は、これからもこの崇高な理念を基本にして、福祉社会の恵沢を、全ての人々とわかちあうために努めていきます。

－ 基本理念 －

- 1 個人の尊厳をまもり、利用者の意向を十分に尊重いたします。
- 2 利用者の心身の健全と、一人ひとりに応じた自立を支援いたします。
- 3 地域の皆さんと一緒に福祉のまちづくりに努めます。

－ 基本方針 －

- 1 利用者の立場に立ってサービスを考えます。
- 2 利用者のため質の高いサービスを提供します。
- 3 笑顔と挨拶と礼儀を大切にします。
- 4 透明で開かれた施設を目指します。
- 5 健全な施設経営を目指します。

目次

I	2020年 事業計画	1
	1. 本会の経営における2020年度の重点項目	2
	2. 中長期計画の行動指針に基づく2020年度の重点項目	2
	3. 2020年度の主要な施設整備計画	4
	4. 2020年度 運営施設(事業)一覧	6
II	事業 経営	8
	1. 保育支援系施設の経営	8
	2. 高齢者支援系施設の経営	18
	3. 障害者支援系施設の経営	39
	4. 児童・女性支援系施設の経営	48
	5. 医療事業施設の経営	55
	6. 収益事業の経営	58
	7. 社会貢献事業	59
	8. 人材育成事業	60
III	職員福利厚生制度ならびに職員研修制度	61
IV	理事会及び評議員会	66
V	事務局主要業務	67
VI	施設長会及び各種委員会	68

I 2020年度 事業計画

我が国の令和2年度社会保障関係予算は、5.1%増の35兆8,121億円となり、対前年度比で1兆7,495億円増額されました。これまでの高齢者中心から、全ての世代が安心できる「全世代型社会保障」の構築に向けて、消費税増収分や介護保険料の総報酬割の導入等を活用した予算措置が講じられました。具体的には、幼児教育・保育の無償化をはじめ、高等教育の無償化や予防・健康づくりの取組みの抜本的強化、勤務医の働き方改革の推進などが盛り込まれています。

一方、令和2年度の東京都予算における税収は1.1%減の600億円の減収となりましたが、福祉・保健分野の歳出は1.6%増の1兆2,801億円となり、対前年度比で201億円増額されました。

当法人としては、上記の情勢を踏まえ中長期計画に添って、経営組織体制の強化に努めるとともに、地域ニーズに応えるために、事業の着実な継続や社会貢献活動に取り組んでまいります。今年度の事業実施にあたりましては、引き続き、利用者の安心・安全を確保し、利用者の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、安定した財務基盤の確立、サービスの担い手である人材の確保と育成を重点目標にいたします。

まず、地域ニーズに応えるため、多様な保育需要に対応した一時預かり事業や定期利用保育事業を昭和郷第二保育園で実施してまいります。また老朽化した施設の移転改築計画の具体化を進め活動基盤の強化に努めるとともに、住み慣れた地域での生活を支えてまいります。

次に、財務基盤の強化については、収益性の高い集合住宅賃貸事業の安定的な事業管理を行い、公益性に根ざした事業活動の推進、更には予算管理や事業効率の徹底を図り、職員の賃金、職場環境の向上を可能とする安定的な財務基盤を構築します。また、事務用品や日用品などの物品調達の一元化や光熱水費の契約先変更などを適時・適切に行い、コスト削減に努めてまいります。

人材の確保育成については、企業型確定拠出年金の導入に向けた検討を進め、更なる処遇改善を図り、非正規職員の正規転換の促進や60歳定年の見直しなど働き方改革の実現に努めます。今年度も積極的に新規学卒予定者等への求人活動を展開するとともに、新しい雇用に向けた即戦力人材や外国人の採用についても積極的に行い、人材の確保に努めます。また、利用者満足度の高いサービスを提供するために、専門的技術並びに利用者の人権擁護の徹底などの職場内外の研修の充実を図り、職員の質の向上、並びにキャリアアップの実現を目指してまいります。

昭島病院については、地域のニーズに即した医療機関として、診療所や他院との医療連携を促進し、紹介患者や救急車・時間外患者の受け入れ強化を図ります。また患者一人ひとりに誠意をもって向き合い、電子カルテシステムを活用して、医療安全、患者サービスの向上に努めます。病床稼働については、現状の83%から年度内86%達成を目指すとともに、費用の伸びを抑えながら徹底した収支改善をおこなってまいります。

本年度も役職員一丸となり、利用者の皆様や地域の方々から信頼される法人であり続けるために精進してまいります。

2020年4月1日

社会福祉法人 恩賜財団東京都同胞援護会
理事長 飯山 幸雄

1. 本会の経営における2020年度の重点項目

- ・経営組織体制の強化
- ・利用者の立場に立った質の高いサービス提供
- ・事業の着実な継続
- ・社会貢献活動への取り組み
- ・人材の確保と育成
- ・安定した財務基盤の確立

2. 中長期計画の行動指針に基づく2020年度の重点項目

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・地元自治体や地域との関係機関との連携を強化し、住み慣れた地域での生活を支援します。
- ・昭和郷地区については、地域包括ケアシステムの充実を目的として、訪問診療体制の拡大を検討します。
- ・老朽化した施設の移転改築計画の具体化を進め、活動基盤の強化を図ります。特に昭和郷北地区にあるニューフジホーム、いこいの家、万世敬老園及び旧かえでについて、2025年度中を目途に、移転改築を基本とする再整備計画策定に着手します。
- ・さくらんぼの大規模修繕後における仮施設の活用方法について、豊島区の障害者施策充実に寄与できるよう、区と協議を進めていきます。

－ 生活環境・利用環境向上の取り組み －

- ・園庭整備（むさしの保育園、昭和郷保育園）
- ・外壁塗装及び屋上防水（みなと保育園）
- ・特殊浴槽の更新（特別養護老人ホームフジホーム）
- ・エレベーター更新（特別養護老人ホームゆたか苑）
- ・浴室全面改修（障害者支援施設さやま園）

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

－ 給与規程の見直し －

- ・持続可能で職員がやりがいを持てる給与制度を構築するため、前年度実施した給与制度に関するアンケートを活用し、制度設計を行います。
- ・新たに社会保険労務士事務所と連携し、新たな給与制度の検討と同一労働同一賃金を目指します。

－ 生産性の向上に向けた職場環境の見直し －

- ・確定拠出年金の導入について、企業型や個人型年金に関する情報収集を行い、導入について検討を継続します。
- ・事務職員全般のあり方等の見直しについて、事務業務のスリム化やアウトソーシング化、集中型から拠点分散型への転換など、本部機能も含めた総合的な検討を行います。

－ 福祉人材の確保 －

- ・積極的な新規学卒予定者等への求人活動を展開します。
- ・保育士の積極的雇用のため、保育グループにおいて就活用イメージ動画を制作いたします。
- ・内定者へのフォローアップとしてSNSを活用して、法人の最新情報を求職者や内定者へ向けて積極的に発信します。
- ・外国人の採用や障がい者・高齢者雇用に向けた取組みを行います。

－ 人材の定着に向けた取組み －

- ・優秀な人材の確保のために、非正規職員の正規雇用転換を積極的に進めます。
- ・更なる処遇改善を実施します。
- ・キャリア採用を促すために、正規職員採用制度のあり方を検討します。

－ 人材の育成 －

- ・法人のキャリアパスを活用し、法人が求める人材を明確化するなど、職員育成プログラムを見直します。
- ・内外の研修を充実し、専門的技術の習得・高度化ならびに利用者の人権擁護の徹底を図ります。

◆ 法人組織・マネジメント強化

－ ガバナンスの強化・コンプライアンスの徹底 －

法人の施設・事業所が、事業運営上遵守しなければならない法令及び基準等を正確に理解し、適正な事業執行管理を継続して行えるよう、内部検査体制の強化・充実のため、事務・事業のチェック項目の見直しを進めます。

－ 財務規律の強化 －

- ・収益性の高い集合住宅賃貸事業の安定的な事業管理を行ない財務基盤の強化を目指します。
- ・事務用品や日用品などの物品調達の一元化や光熱水費の契約先変更などを適時、適切に行い、コスト削減に努めます。
- ・法人のスケールメリットを活かした運営費の弾力運用を行い、財務基盤の強化(施設整備財源確保や運用等)を図ります。
- ・昭島病院について、医療連携を促進し紹介患者や救急車、時間外患者の受入れ強化を行うなど、地域における病院の役割をより明らかにしてその使命を果たしてゆくとともに、徹底した収支改善を行います。
- ・高齢者支援系施設の内、在宅系サービスについて、地域における需給状況や事業の将来性等を勘案し、事業廃止も含めた見直しに着手します。
- ・実績に応じた予算を作成するとともに、月次予算の厳格な執行管理をおこない、法人全体の財務基盤の強化を図ります。

－ 情報システムの見直し －

業務の都合により個々に導入してきた各情報システムのあり方を見直します。

3. 2020年度の主要な施設整備計画（10,000千円を超える計画）

- ・ 特別養護老人ホーム5施設「介護支援ソフト更新」

目的： 現行のソフトの契約期間(5年間)が終了となるため更新を行う。

時期： 7～9月

金額： 23,080千円(5施設合計)

財源： 当期収入(介護保険事業収入)

- ・ さやま園「2階入浴室改修工事」

目的： 循環風呂設備の経年劣化による。また利用者の高齢化を見据え、天井走行リフトレールの設置等、より安全な介助を可能とするため整備を行う。

時期： 7～9月

金額： 15,967千円

財源： 当期収入(障害福祉サービス等事業収入)

- ・ 昭和郷保育園「園庭遊具整備工事」

目的： 竣工から17年が経過し遊具の劣化が進んでいる。園児の安全を第一に考え入替を行う。

時期： 10～12月

金額： 28,281千円

財源： 施設整備積立金

- ・ みなと保育園「外壁塗装及び屋上防水工事」

目的： 前回の改修より10年以上が経過し劣化が進んでいる。安全で快適な環境を整備するため更新を行う。

時期： 10～12月

金額： 24,112千円

財源： 施設整備積立金

- ・ ゆたか苑「エレベーター更新工事」

目的： 耐用年数が到来し補修部品の供給が終了したため設備の更新を行う。

時期： 10～12月

金額： 27,830千円

財源： 施設整備積立金

・昭島病院「麻酔用機器一式入替」

目的： 耐用年数到来のため機器の入替を行う。

時期： 1～3月

金額： 12,650千円

財源： 当期収入(医療事業収入)

・昭和郷保育園／サンライズ万世／双葉園「大規模修繕工事」

目的： 竣工から17年が経過した。外壁補修・空調設備の更新・照明設備のLED化・屋上防水等の大規模修繕工事を行う。

期間： 2カ年計画(うち当期の想定出来高1%)

金額： 225,439千円(うち当期分(出来高相当分+実施設計料):6,493千円)

財源： 児童福祉施設等整備費補助金(130,006千円／補助率:57.7%／うち当期分:1,301千円)

自己資金(95,433千円／施設整備補助金等／うち当期分:5,192千円)

4. 2020年度 運営施設(事業)一覧

グループ名	種別	施設名	定員 (世帯)	職員数				
				正規職員	契約	非常勤	合計	
保育 支援 系 施設	保育所	むさしの保育園	169	39	0	18	57	
		本園	140					
		方南分園	29					
			昭和郷保育園	100	22	3	12	37
			大山保育園	130	28	1	16	45
			昭和郷第二保育園	190	35	6	22	63
			みなと保育園	63	17	1	8	26
			同援みどり保育園	125	27	3	16	46
			つつじが丘保育園	110	26	0	16	42
			同援さくら保育園	108	28	1	23	52
			同援はいじま保育園	50	10	2	10	22
保育施設計			1,045	232	17	141	390	
高齢 者 支 援 系 施設	養護老人ホーム	万世敬老園	180	22	6	17	45	
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	11	6	7	24	
	救護施設	昭島荘	100	36	4	12	52	
	小計			330	69	16	36	121
	特別養護老人ホーム	フジホーム	100	40	10	20	70	
		ニューフジホーム	100	41	7	23	71	
		原町ホーム	50	21	7	13	41	
		ゆたか苑	50	24	2	13	39	
		ひかり苑	50	23	6	19	48	
	小計(介護施設)			350	149	32	88	269
	短期入所生活介護 (予防)事業	フジホーム	(6)	4	—	—	—	
		ニューフジホーム	(6)	4	—	—	—	
		原町ホーム	(4)	2	—	—	—	
		※専用数(空所利用数)	ゆたか苑	(4)	4	—	—	—
		ひかり苑	(5)	4	—	—	—	
	認知症対応型老人共同生活援助 事業(グループホーム)	グループホームかえで	18	2	8	9	19	
		原町グループホーム	18	5	3	13	21	
	通所介護(予防)事業	フジ・デイサービスセンター	25	2	0	15	17	
		原町デイサービスセンター	12	1	0	8	9	
		東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	1	3	5	9	
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	10	1	0	11	
		昭島市中部地域包括支援センターあいぼく	—	3	0	4	7	
	居宅介護支援事業所	フジホーム	—	2	0	2	4	
		原町ホーム	—	2	0	0	2	
		ゆたか苑	—	3	0	0	3	
		ひかり苑	—	1	0	0	1	
		昭和郷	—	1	0	0	1	
小規模多機能型居宅介護事業	原町小規模多機能居宅介護センター	25	5	1	9	15		
	昭和郷小規模多機能居宅介護センター	25	3	5	6	14		
定期巡回・ 随時対応型訪問介護看護	昭和郷訪問介護センター	—	6	3	6	15		
小計(介護在宅)			153	47	24	77	148	
公益事業	フジホーム診療所	—	0	0	0	0		
	介護職員初任者研修事業	—	0	0	0	0		
	さくらガーデン (サービス付き高齢者向け住宅)	49	1	0	10	11		
高齢者施設計			882	266	72	211	549	

グループ名	種別	施設名		定員 (世帯)	職員数				
					正規職員	契約	非常勤	合計	
障害者支援施設	障害者支援施設(入所)	さやま園(居住)	施設入所支援	96	100	60	21	36	117
	障害福祉サービス(通所)	さやま園	生活介護	(96)					
			短期入所	4					
		小茂根福祉園	生活介護	40	70				
			就労継続支援B	30					
		立川福祉作業所	生活介護	30	80				
			就労継続支援B	44					
	就労移行支援		6						
	東村山生活実習所	生活介護	30	40					
		就労継続支援B	10						
			短期入所	2		12	6	8	26
		心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ		-	16	1	15	32
		身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター		-	20	2	7	29
		共同生活援助事業 *1 (知的障害者グループホーム)	アミニティ富士見		6	-	(1)	-	-
			グリーンハイツ		6	-	(1)	-	-
			フレンズ・モエ		4	-	(1)	-	-
			パル		6	-	(1)	-	-
			それいゆ小川		7	-	(2)	-	-
			ファーム竹丘1		6	-	(2)	-	-
			ファーム竹丘2		7	-	(1)	-	-
			風のね		10	5	2	5	12
			レゾオンス巣鴨		4	-	(1)	-	-
			はなみずき		4	-	(1)	-	-
			ユーカリ		4	-	(1)	-	-
			夢オハナ		6	-	(1)	-	-
			結オハナ		6	-	(1)	-	-
		特定相談支援事業	さやま園		-	2(兼務)			0
	立川福祉作業所			-	2(兼務)			0	
	さくらんぼ			-	1(兼務)			0	
	公益事業	豊島区西部障害支援センター		-	2	0	3	5	
	障害者施設計			368	157	38	87	282	
児童・女性支援施設	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野		20	10	2	6	18	
		緊急一時保護		1					
		サンライズ万世		20	11	1	5	17	
		緊急一時保護		2					
	児童養護施設	双葉園		38	36	3	6	45	
		地域小規模「高嶋の家」		6	4	0	0	4	
		地域小規模「くすのき」		6	4	0	0	4	
		昭島市子どもトワイライトステイ事業		2	0	0	1	1	
	婦人保護施設	いこいの家		40	11	3	2	16	
児童厚生施設	昭島市児童センターぱれっと		-	1	2	10	13		
児童・女性施設計			135	77	11	30	118		
施設合計				2,430	732	138	469	1,339	
医療	病院	昭島病院		199	207	13	118	338	
	訪問看護	昭島病院訪問看護ステーション		-	4	1	2	7	
収益	印刷	事業局		-	13	1	0	14	
	不動産賃貸 *2	不動産賃貸事業		-	-	-	-	-	
	駐車場	病院駐車場		-	-	-	-	-	
合計				2,629	956	153	589	1,698	

*1 共同生活援助事業の職員数は委託事業のため職員数には含まない。()内の職員数は、委託職員数。
なお、計画作成担当者はバックアップ施設の職員が兼務する。

*2 新規事業の南青山集合住宅賃貸業含む。

Ⅱ 事業経営

1. 保育支援系施設の経営

認可保育所を経営します。

1 グループ方針

・未来に安心とやすらぎのある福祉社会を、すべての人々と共に創るという課題に向き合って行きます。
・人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創りだして行きます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

・保育所保育指針に沿った全体的な計画を基に、保育目標の達成に努めます。
・子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開するために、職員に対する倫理教育を充実させ、子どもの生きる力を育てます。
・非常災害に対する実効性のある事業継続計画（BCP）の見直し及び訓練の実施を行います。
・子どもたちの健やかな成長のために、児童虐待の予防、早期発見、早期対応に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・障がい児の受入れや、育児困難家庭への積極的な取組みをします。
・広報活動を強化します。
・地域社会の子育ての拠点として、育児相談、育児講座を実施し、さまざまな機関、組織との連携・協働を通して保育所の役割を果たすとともに、子育て支援の充実を図ります。
・一時保育（都型）に加え、新たに一時預かり事業（一般型）の定期利用を実施し、待機児童対策として地域貢献に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供できる人材の育成および研修の充実を図り、職員の定着に努めます。
・実習生への積極的なアプローチ、職場体験の充実を図り、新規採用者に繋げるよう努めます。
・働きやすい職場環境をつくり、人材の定着に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・安定運営のために、省エネ対策や無駄な経費削減に努めます。また適切な職員配置を行います。
・あらゆるリスクに備えた施設運営の見直しをします。

2020年度 事業計画（保育所）

施設名 **むさしの保育園**

定員 **169** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
105.8%	103.9%	100.7%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重し、専門知識を活かした保育を展開し、子どもの生きる力を育てます。
- ・「気持ちに寄り添いみんな笑顔」を合言葉に一人ひとりの個性や発達を理解し、安心感・信頼感を持って自発的・意欲的に活動が展開できるよう見守ってきます。
- ・遊びの中での育ちあいを大切に子どもたちが日々感動したり、驚きや発見に出会えるよう、保育内容・保育環境の充実を図ります。
- ・非常災害に対する実効性のある事業継続計画(BCP)の見直し及び訓練の実施を行います。
- ・園庭改修工事(本園)、オーニング設置工事(分園)を行い、子どもの安全・安心を確保し快適に過ごせるようにしていきます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域子育て支援の拠点として、地域の様々な組織との連携・協働を図りながら、保育所としての役割を果たします。
- ・積み上げた保育のノウハウを活かし、子育てに関する情報の提供に努め、保護者の就労を積極的に支援し、多様なニーズに応える取組みを展開します。また保育の専門性を活かし、保護者の気持ちを受け止めながら相談、サポートを行っていきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員育成計画に基づき倫理教育、研修の充実を図り、多様なサービスと質の高い保育を提供できる人材の育成を行っていきます。
- ・安心・安全で働きやすい職場風土を目指し、園全体で更なる改善を行い職員の定着・仕事のやりがいにつなげます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した運営に向けて、稼働率の維持と適切な職員配置を行います。
- ・節減・節約を心掛け無駄な経費削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
オーニング設置 (分園テラス)	2,500	園庭園路舗装工事	4,455	PC(×4) 支援システム用PC(×5)	750 850		
購入等合計	2,500	購入等合計	4,455	購入等合計	1,600	購入等合計	0

2020年度 事業計画（保育所）

施設名 昭和郷保育園

定員 100 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
115.3%	114.8%	116.4%	117.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・定員の弾力化を行い、待機児童対策に協力します。(定員100名 → 117名)
- ・保育所保育指針を基に作成した保育計画を職員間で意識を統一して共有し、園全体で子どもの健やかな育ちの支援を行います。(会議等での情報共有)
- ・事業継続計画(BCP)を見直し、訓練を行います。
- ・園庭整備、園庭遊具の入替を行い、園児が安全に遊べる環境を作ります。
- ・病後児保育の充実(利用人数の安定:50名/1年)を図ります。

◆ 地域社会への取組み

- ・障がい児受入や気になる子へのアプローチ(連携機関との連携・協働)を通して保育所の役割を果たすとともに、保護者に寄り添いながらニーズに合った支援を行います。
- ・身近な題材を中心とした育児講座(ミニキッチン・行事制作等)を行い、子育て支援に取り組みます。また、保育所体験や一時保育、園庭開放、行事への参加等を通じて地域の方々が保育園を知る機会を作ります。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・各クラスの業務状況をリーダーが正確に把握するとともに、時間外労働についての意識改革と適切な申請を促すことで、働きやすい職場づくりを目指します。
- ・業務の見直しを行います。
- ・内外の研修に積極的に参加するとともに一人一人に合わせた育成を行います。(園内研修:絵画・子どものサポート技術研修他)

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

安定した運営に向けて稼働率の維持に取り組むと共に、経費削減のための省エネに取り組んでいきます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				園庭整備工事	810	大規模修繕工事	1,318
				園庭遊具整備工事	28,281	(2カ年計画1%分)	
				支援システム用PC(×8)	1,731		
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	30,822	購入等合計	1,318

2020年度 事業計画（保育所）

施設名 大山保育園

定員 130 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
101.2%	101.2%	99.3%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・職員に対する倫理教育の充実に努めます。
- ・乳児期から保育者の愛情豊かな関わりを通して、園児一人ひとりと信頼関係の構築に努め自己肯定感を持てるよう支援します。
- ・子ども達が「生きる力」「考える力」を育てていくために、自ら選択し「遊び込める」環境を整えていきます。
- ・非常災害に対する実効性のある事業継続計画(BCP)の見直し及び訓練の実施を行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・子育て支援のニーズが多様化していく中で関係機関等と連携を図り、それぞれの家庭に合った支援に努めます。
- ・育児講座や育児相談など地域に向けて事業内容の工夫と充実を図ると共に、近隣の子育て世代に保育園を知ってもらえるように努めます。また地域の方々との交流も深めていながら、地域の子育て力を高められるように育児支援に力を入れていきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員育成計画に基づき園内外の研修の充実を図ります。また個別の目標設定と管理を行い、職員の質の向上、多様なサービスを提供できる人材を育てます。
- ・職員間でお互いを認め合える働きやすい職場環境をつくり、職員の人材確保と定着に努めます。
- ・時間外労働の適正申請を促すと共に、業務の見直しをします。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した運営のため稼働率の維持に努めます。
- ・職員の適正人数の配置を行い、事業費・事務費の無駄を無くし経費削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		スライドドア付き ロッカー／パーテーション (0歳児)	1,606				
購入等合計	0	購入等合計	1,606	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（保育所）

施設名 昭和郷第二保育園

定員 190 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
104.0%	104.5%	104.0%	104.5%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重しながら、養護と教育を一体とした質の高い保育を提供し、子どもの生きる力を育てます。
- ・乳児保育では受容的で応答的な保育を行い、幼児保育では「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」(10の姿)を意識し考える保育・教育を行い小学校への接続を支援します。
- ・保護者と子どもの育ちを喜び合い協働できるよう努めます。
- ・非常災害に対する実効性のある事業継続計画(BCP)の見直し及び訓練の実施を行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域社会の子育ての拠点として、様々な機関、組織との連携・協働を通して、障がい児の受け入れや育児困難家庭への取組みを支援します。
- ・待機児解消に向けた定員の弾力化や一時保育定期利用事業を拡大実施するとともに、育児相談、育児講座などの広場事業の充実を図り地域貢献に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員育成計画に基づき倫理教育、研修の充実を図り、多様なサービスと質の高い保育を提供できる人材の育成と定着に努めます。
- ・働き方の見直しから働きやすい職場環境を作ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した経営の為、稼働率の維持と適切な職員配置を行い、ムリ・ムラ・ムダな経費削減に努めます。
- ・リスクに備えた施設の運営管理に向け、安定安心した財産基盤の強化に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		支援システム用PC(×5)	1,021	北園舎外壁塗装工事	4,280	園舎内壁塗装工事	740
購入等合計	0	購入等合計	1,021	購入等合計	4,280	購入等合計	740

2020年度 事業計画（保育所）

施設名 **みなと保育園**

定員 **63** 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
103.6%	99.6%	99.8%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・家庭と連携して、子どもの最善の利益を考慮した養護と教育が一体となった保育を展開していきます。
- ・外壁塗装工事、屋上の防水工事等大規模修繕を行い、安全で清潔な施設作りを進めていきます。
- ・毎月の避難訓練、災害時の役割分担の確認、定期的な安全点検、リスク会議の検証等、安全対策に努めていきます。また、実効性のある事業継続計画(BCP)の見直し及び訓練の実施を行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・育児相談、育児講座等の子育て支援の充実を図ります。
- ・地域社会子育ての拠点として、様々な機関、組織との連携・協働を通して保育所の役割を果たすと共に、地域貢献に取り組みます。
- ・20年以上続けていて地域に人気のある和太鼓を継続していきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員育成計画に基づき、職員の質の向上や多様なサービスを提供できる人材の育成を行うために、園内外の研修に積極的に参加します。
- ・職員が働きやすい職場環境を作るよう働き方改革を進め、定着に努めます。
- ・職員に対する倫理教育の充実を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

安定経営のために、経費削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
厨房機器一式	2,796			外壁塗装及び 屋上防水工事	24,112		
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	24,112	購入等合計	0

2020年度 事業計画（保育所）

施設名 同援みどり保育園

定員 125 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
104.0%	104.0%	103.0%	104.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの成長に応じた適切な養護と教育を行います。
- ・乳児期は小グループで保育指針に沿った「丁寧な保育」を行うことで、子ども達の「生きる力・心の育ち」を育みます。
- ・子ども達が生活する環境を整え、安心して過ごせる生活の場を提供します。また、防災・減災、事業継続計画(BCP)の充実に向け災害訓練を行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域社会の子育ての拠点として、様々な機関、組織との連携・協働を通して保育所の役割を果たします。
- ・要支援児の受け入れや、育児困難家庭への積極的な取組みを行います。また、虐待等心配のある場合も適正な対応を行います。
- ・保育の専門性を活かし、保護者の気持ちを受け止めながら相談、サポートを行っていきます。
- ・園児による近隣エリアの清掃活動等、地域や環境に愛着を感じられる貢献活動を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・園内外の研修に積極的に参加し、職員のスキルアップに努めます。また、福祉人材としての倫理教育の強化とともにコンプライアンスも重視します。
- ・人材育成を適切に行うことで安心して働ける職場環境をつくり、若手職員の定着に努めます。また、働きやすい職場風土を目指し、園全体で更なる改善を行います。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・施設整備計画を意識し、省エネ対策や無駄な経費を削減し財務基盤の強化に努めます。
- ・働き方改革を受けて「労働の質と量」の見直しを行い、効率的に働くとともに適切な職員配置を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
エアコン交換工事 (玄関)	625						
購入等合計	625	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（保育所）

施設名 つつじが丘保育園

定員 110 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
119.0%	116.8%	111.3%	111.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・保育所保育指針に沿った全体的な計画を基に、保育目標の達成に努めます。
- ・利用者の権利を尊重しながら、本園に蓄積された専門的知識技能を活かし、保育所の役割を果たします。
- ・様々な実体験(命の大切さ、食育等)を通して、五感を楽しみ、子どもの生きる力、感謝の気持ち、愛情を育てます。
- ・子どもたちの健やかな成長のために、児童虐待の予防、早期発見、早期対応に努めます。
- ・安全な環境を整え、事業継続計画(BCP)の見直し及び訓練の実施を行います。

◆ 地域社会への取り組み

- ・地域社会への子育て支援の拠点として、さまざまな機関、組織による連携・協働において保育所の役割を果たします。
- ・地域の高齢者施設や自治会などで、交流や行事に参加し、お互い関わりながら優しさや思いやりの気持ちを育てます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供出来る人材の育成、倫理教育・研修の充実を図ります。
- ・働きやすい職場環境をつくり、人材の定着に努めます。
- ・職員採用に繋がるよう、実習生の積極的な受け入れや職場体験、また学校説明会などで保育園職員のやりがいなどを広く伝えていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・安定運営のために、省エネ対策や無駄な経費削減に努めます。
- ・園児数による適正な職員配置を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		支援システム用PC(×10)	2,192				
購入等合計	0	購入等合計	2,192	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（保育所）

施設名 同援さくら保育園

定員 108 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
109.3%	108.3%	109.6%	103.7%

◆ 利用者支援サービスの充実

・「心に寄り添う」「思いっきり遊ぶ」を合言葉に子どもが安心感・信頼感を持ち、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように努めます。
 ・保護者の一日保育士体験や様々な事業を通して、子育ての喜びや悩み、不安に寄り添っていきます。
 ・災害・大感染時期等の非常時に対応する為、事業継続計画(BCP)の見直し及び訓練の実施を行います。

◆ 地域社会への取組み

・地域に向けて一時保育、園庭開放、育児講座を実施し、遊びの場の提供や子育てへの不安や悩みの解消、保護者の負担感の軽減に努めます。
 ・保育所体験を毎月1回の実施として、出産前からの園とのつながりを作っていきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・チューター制度・職員育成ラダー・キャリアパス体系を活用して職員育成と定着につなげます。
 ・研修等の充実を図り職務内容に応じた専門性を高め、多様なサービス・質の高い保育の提供ができる人材を目指します。
 ・非常勤職員へ向けての園内研修(OJT)を定期的実施し、業務の標準化を図ります。
 ・働きやすい環境や、満足感、安心感のある職場風土を構築していくことで、若手職員の定着を目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・施設整備計画を意識し省エネ対策や無駄な経費の削減を行い、財務基盤の強化に努めます。
 ・働き方改革を受けて「労働の質と量」の見直しを行い、効率的に働くとともに適切な職員配置を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		厨房ダクト清掃	1,800	熱風消毒保管庫(×2)	1,005		
購入等合計	0	購入等合計	1,800	購入等合計	1,005	購入等合計	0

2020年度 事業計画（保育所）

施設名 同援はいじま保育園

定員 50 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創ります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
82.0%	110.5%	111.6%	111.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・保育所保育指針に沿った全体的な計画のもとに本園の特徴的な取り組み(家庭的な保育、縦割り・個別保育、様々な実体験を通じた活動)をより深めて利用者満足につなげます。
- ・縦割り保育、個別保育を大切にし、子どもたちが自主的に動ける保育・環境作りに努めます。
- ・子どもたちがのびのび体を動かすことができる環境を整えます。(運動遊具、棚、ついたて等)
- ・散歩や園内運動、基本体操を計画的に行い、子どもたちの体力向上につなげ、健康な身体づくりを目指します。
- ・BCPの見直し及び訓練の実施を行い非常災害に備えます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域に本園を知って頂き、育児相談の充実等、より地域に根差したサービスを提供できるようにします。
- ・乳児でも安心して遊べる場を提供できるよう、屋上の環境を整え、定期的に開放する等し、気軽に訪れてもらう中で相談事業を活性化していきます。
- ・一時保育はポスター等を掲示し気軽に利用できるようにし、様々な状況の家庭を柔軟に受け入れます。
- ・ボランティア、職場体験実習生の受け入れも増やし、地域貢献や保育拠点活動につなげます。
- ・災害時の一時滞在所として機能できるようマニュアル、備品を整備し、それに応じた訓練を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・東京都や福祉関係機関が行っている研修に積極的に参加し、園内の職員にも周知していけるよう研修報告を充実させます。
- ・職員が運動をする時間をとったり、ゆとりをもって仕事ができる環境を作り、職員の事故防止に努めます・保育士育成校と連携をとり、実習生の確保につなげます。
- ・保育充実や利用者対応の園内研修(絵画、接遇、自主活動等)を行い人材育成につなげます。
- ・働きやすい職場づくりや人的環境を整えるなどし、職員のワークライフバランスを大切にします。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・職員の適正人数、事業費、事務費の無駄をなくし、経費の削減を図ります。
- ・消耗品、日用品について必要性を随時見直し、公共料金等は使用料金を職員間で共有して、無駄を削る意識を強めていきます。
- ・地域活動の活性化や、一時保育を可能な限り受けるようにし、園児の安定した入所や収入に繋げていきます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
屋上テント	800	収納棚	650				
購入等合計	800	購入等合計	650	購入等合計	0	購入等合計	0

2. 高齢者支援系施設の経営

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム、認知症対応型共同生活介護、デイサービスセンター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護並びにサービス付き高齢者向け住宅、救護施設を経営します。

1 グループ方針

- ・社会福祉法人としての責務を果たすため、法人中長期計画の方針に沿って、施設運営を行います。
- ・利用者個々に寄り添い、その人らしい生活を送れるように介護や支援を行います。
- ・現在実施している公益的取り組みを引き続き推進して行きます。
- ・それぞれの地域の中で、拠点施設としての役割が果たせるよう、人材の確保と育成を継続し、専門性に基づくサービスの提供に努めます。
- ・目標とする稼働率を維持し、安定した経営を目指します。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の人権に配慮しながら、その有する能力に応じた、自己決定に基づく日常生活を営むことが出来るような介護や支援をいたします。
- ・介護の質の更なる向上を図るためICTを活用した介護や支援に取り組みます。
- ・利用者の生活環境の改善を図るため、物品の購入や修繕を積極的に行います。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取り組み

- ・地域包括ケア構築のため自治体や地域と協力しながら、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう介護・医療・福祉を一体で提供するとともに、地域に合わせた多様なサービスに取り組み開かれた施設を目指します。
- ・子ども学習支援については、児童女性支援系グループと連携して継続していきます。
- ・地域包括支援センターと連携しながら緊急時の短期入所受け入れ、介護者教室、認知症カフェ等を推進します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・新規職員確保のため、研究発表会や求人説明会等へ参加することで、介護のやりがいや魅力を発信し、人材確保対策を強化します。実習生は積極的に受け入れ、丁寧に対応することで就職へ繋がるよう働きかけます。
- ・多様な研修を通してサービスの質の向上、現任職員のレベルアップや育成を行い、職員満足を得ることで「介護職員の離職防止」を目指します。
- ・福祉人材の裾野の拡大のため初任者研修に加えて生活援助者研修を継続していきます。
- ・外国人職員採用継続のため、受け入れ環境の整備を行います。
- ・ワークライフバランスを考慮した働き方改革のため、情報通信技術(ICT)の導入等で業務内容の見直しを図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・コストの削減や加算の取得、働き方改革を通して、グループ全体で業務改善に多角的に取り組み、安心・安全の運営及び健全経営を目指します。
- ・グループ全体の円滑な経営を進めるため高稼働率の維持、人員配置や財務状況の見直しを随時行います。
- ・収支改善へ向けてグループ会やグループ内連絡会等で改善策を講じます。

1 養護老人ホーム

65歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において継続的な日常生活が困難な方を養護します。

2 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方を利用契約により無料又は低額な料金を、日常生活に必要な便宜を供与します。

3 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において継続的な日常生活が困難な方を養護します。

4 認知症対応型共同生活介護

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行います。

5 老人デイサービスセンター

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障がある方に、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ります。

6 地域包括支援センター

地元区市からの委託により、高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行います。

7 居宅介護支援事業所

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネージャー（介護支援専門員）が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿って、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成したり、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行います。

8 小規模多機能型居宅介護事業

65歳以上で、身体上または精神上の障害があるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、自宅において、またはこのサービスの拠点へ通い、もしくは短期間宿泊することにより、居宅介護及び機能訓練等を提供します。

9 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。サービスの提供にあたっては、訪問介護員だけでなく看護師なども連携しているため、介護と看護の一体的なサービスを提供します。

10 サービス付き高齢者向け住宅

「高齢者住まい法（厚生労働省・国土交通省所管）」に基づく、高齢者にふさわしいバリアフリー構造等の住まいで、安心して暮らせる見守りサービス（安否確認、生活相談等）を備えた賃貸住宅です。

11 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活をおくるのが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助、医療扶助を行います。

2020年度 事業計画（養護老人ホーム）

施設名 万世敬老園

定員 180 名

【地域における施設ミッション】

養護を必要とした高齢者の自立を支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
91.0%	91.4%	90.5%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の主体的な生活を尊重し、自治会やクラブ活動等、様々な活動を職員とともに行うことで心身の活性化、健康な生活や社会での活躍につながるよう支援します。
- ・地域に出て、施設外の方と触れ合う機会を大切に、心身共に活性化につながるよう支援します。
- ・個室を活用して重度化への対応や生活環境の改善を図ります。
- ・各クラブ、レクリエーションを通じ、介護予防に取り組み充実した生活、意欲の増進を図ります。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・都内各自治体と連携しながら、緊急の入所受け入れを行います。
- ・保育園の見守り隊を継続し、地域への貢献を行います。
- ・昭和郷行事等を通じ、地域交流事業に積極的に参加します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・内外の研修の機会を活用し、また自施設のみでなく他施設での研修を通じて、多様な人材を育成し、利用者満足と組織力を高められるよう人材育成を充実させます。
- ・ワークライフバランスを確保し、働きやすい職場を目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・定員180人での適切な予算執行を行い、高稼働率を維持することで健全な経営を目指します。
- ・改築に向けた資金の確保の為、コストの削減、加算の取得を目指し、収支差額の増額を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
防犯カメラ	600						
購入等合計	600	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（軽費老人ホーム）

施設名 **サンホーム**

定員 **50** 名

【地域における施設ミッション】

地域に根差した拠点づくりを目指し、「地域と共にある」中で一人ひとりの生活が継続できるよう支援して行きます。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・潤いのある生活の場、豊かな生活を継続できるように支援いたします。
- ・福祉施設と高齢者向け住宅との違いを明確にする取組みをいたします。
- ・施設整備においてはH18、H19年度に交換した居室エアコンが10年を超えるため、5年計画で交換します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域施設との交流会及び近隣事業所との連携を継続、強化し、自施設にとどまることなく、幅広い支援を提供いたします。
- ・地域貢献、地域支援の要として、サンホーム給食の利用者増に向け取り組みます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・研修や他施設の見学等を通じ、職務の研鑽に努め、介護と相談の双方の視点を兼ね備えた職員の育成にあたります。
- ・日頃より支援手順を確認し、丁寧な動作を心がけ、利用者にも職員にも優しい施設の実現に取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・日々の支出を見直して、無駄を精査し経営の安定化に繋げるよう努力します。
- ・今後必要となる大規模修繕に向けた積立に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
エアコン交換工事(×5)	575	温冷配膳車	1,500			エアコン交換工事(×5)	575
購入等合計	575	購入等合計	1,500	購入等合計	0	購入等合計	575

2020年度 事業計画（救護施設）

施設名 昭島荘
 定員 100 名

【地域における施設ミッション】

一人ひとりの利用者が主体的に自己実現を図るため、「個別支援計画」に基づいた支援とサービス提供を実践して、循環型セーフティネット施設としての機能を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
99.8%	99.8%	99.4%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

・人としてふさわしい生活を求める権利、誰もが持っている幸せに生きる権利を尊重し、利用者を独立した人格としての権利擁護に努めます。また、利用者支援においては、利用者が主体的に自己実現を図るため、「個別支援計画」に基づいた支援とサービスを提供します。
 ・生活扶助のみを行う施設ではなく、利用者の状況に応じた様々なニーズに合わせた対応を行うとともに、あらゆる障害者を幅広く受け入れる救護施設として、そのセーフティネット機能の強化に努めます。
 ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取り組み

・地域の社会資源ネットワーク活動に積極的に参画するとともに、積極的に外出の機会を設け、利用者の行動範囲の拡大と地域におけるニーズの発掘にも取り組みます。
 ・同援こども学習室(地域学習支援活動(「ラスク」)への後方的支援として、定期的な昼食提供を継続しつつ、直接的な学習支援活動にも関わられるよう施設内での検討を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・法律や制度には無い個々の「尊厳」をいかに守るかを考えられる組織づくりに取り組みます。
 ・今後の福祉・介護人材養成のため、学校や社協等関係機関への情報発信による実習受け入れ(社会福祉士、介護福祉士)体制の強化を図ります。
 ・働き方改革を遂行するため、ICT(通信情報技術)を活用した業務改善を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

・収益の向上と費用の削減に努め、安定した財務基盤を構築します。
 ・社会福祉法第24条の「経営の原則」に基づき、事業経営の透明性の確保を図ります。
 ・職員の配置状況に即したサービス推進費の加算取得を効率的に実施します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		防火用補給水槽交換工事	2,000				
購入等合計	0	購入等合計	2,000	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

2020年度 事業計画（特別養護老人ホーム）

施設名	フジホーム		
定員	100	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			6
			名
			名

【地域における施設ミッション】

地域包括ケアシステムの中で、地域の方に安心・安全を提供できる拠点施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
97.6%	96.9%	96.7%	96.7%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の人権に配慮しながら、その有する能力に応じた、自己決定に基づく日常生活を営むことが出来るように介護・支援いたします。
- ・利用者の生活環境の改善のための物品の購入や修繕を行っていきます（特殊浴槽交換予定）。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症予防対策や防災マニュアル、災害時におけるBCP(事業継続計画)は随時見直しを行います。
- ・看取りケアの更なる充実に向けて接し方や対応方法などを常に職員全体で考えていくように努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・自治体や地域と協力しながら、介護が必要となっても地域で暮らし続けられるよう介護・医療・福祉を一体で提供するとともに、地域に合わせた多様なサービスに取り組むなど、開かれた施設を目指します。
- ・昭島病院総合支援センター、地域包括支援センターと連携しながら緊急時の短期入所受け入れや在宅復帰時の調整において短期入所生活介護事業を活用し、地域のネットワーク作りを支援します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・OJTや研修を通してサービスの質の向上、現職員のレベルアップ、育成を行い、良好なコミュニケーションを通して「介護職員の離職防止」を目指します。
- ・介護人材確保対策として昭島市介護人材確保実行委員会(市内特養施設長主催)を開催し、市内事業所と協働することで、介護のやりがい・魅力を内外に発信し、未来の人材確保に貢献していきます。
- ・外国人技能実習生を受け入れることで、施設内に限らず国際的な福祉人材の育成に貢献いたします。
- ・働き方改革として、5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に取り組み、業務の効率化を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・稼働率向上と加算取得による収入増を目指し、常にコスト削減を意識しながら健全な経営を目指します。
- ・適切な人件費となるよう業務改善を行います。
- ・老朽化施設改築のため収支差額の増額を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)							
第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
特殊浴槽	7,600	介護支援ソフト更新	5,603				
購入等合計	7,600	購入等合計	5,603	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（特別養護老人ホーム）

施設名	ニューフジホーム		
定員	100	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			6
			名
			名

【地域における施設ミッション】

地域の住民が老後も安心・安全に暮らし続けられるように、専門的ケアを積極的に地域に還元するとともに、地域の拠点施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
93.5%	93.6%	94.0%	95.7%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者に“丁寧な寄り添う介護”を提供するため、個別ニーズに応じた支援に努めます。
- ・年々進む利用者の重度化に対応するため、個々に合った移乗・移動介助の検討、持ち上げない介護の推進、食事スペースの改善、リクライニング車椅子・電動ベッドの活用などを行います。
- ・看取りについても、さらなる充実にむけて、病院と連携し、取り組みを行っていきます。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取り組み

- ・地域の集会所を活用した、ロコモティブクラブを継続して開催し、地域の方との連携に努めます。
- ・昭島病院と連携し、地域包括ケア推進に向けて取り組みを行います。(健康サロン、ショートステイ利用等)
- ・ホームページをこまめに更新し、地域への情報発信に努めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・人材活用として、出産・育児・介護での離職防止の為に体制整備を推進して行きます。
- ・就業年数の長い職員の体の負担をなくす業務改善を進めるとともに、ロボット機器(マッスルスーツ)等を活用し、長く働き続けられる職場環境を整備していきます。また業務の効率化を推進します。
- ・新規職員確保の為に、職場のOJT体制を検討し、未経験の職員、外国人の職員への研修体制、受け入れ体制を構築していきます。

◆ 財務基盤の強化に向けた取り組み

- ・人件費を抑制しながらも、非常勤職員などスポットで補える職員などを積極的に活用し、稼働率向上に努め、95.7%を目標に収支の均衡に努めます。
- ・稼働率向上のため、入院者の減少、感染症予防対策の充実、退所後の速やかな入所、空床のショートステイ利用を進めます。
- ・節電、節水につとめ、消耗品、日用品は必要性を随時見直し、価格も比較検討し、経費の削減を図ります。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		回線交換機	3,300				
		介護支援ソフト更新	3,608				
購入等合計	0	購入等合計	6,908	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

2020年度 事業計画（特別養護老人ホーム）

施設名	原町ホーム		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			2
			4
			名
			名

【地域における施設ミッション】

各種事業を備えた地域の拠点として、カフェメモリー原町やミニデイサービスを充実し、地域住民が安心して暮らせる街づくりに貢献します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
99.5%	99.3%	99.5%	99.3%

◆ 利用者支援サービスの充実

・「やさしさを起点とした介護」を実践することで持っている力や希望(ストレングス)を引き出し、その人らしい生活を支援します。
 ・認知症緩和療法(ハプティックセラピー・フンネメソッド)を通して、心にゆとりを持てる豊かな生活を提供します。
 ・利用者本位の徹底といつも笑顔のあるケアにより利用者にとって安心・安全な施設を目指します。
 ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

・地域社会の福祉拠点となるよう、関係各所と連携を強化し地域のニーズを発見し応えます。
 ・カフェメモリー原町・ミニデイサービス・原町ベストクオリティクラブの充実で地域の活力を増進し、地域とともに発展を目指します。
 ・福祉避難所協定施設、成城学校避難所運営協議会参加団体として、地域住民や近隣町会との繋がりを強め地域包括ケアの一端を担えるよう役割を果たします。
 ・新宿区内社会福祉法人連絡会加盟法人と連携をとり地域住民のニーズに応じていきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・コンプライアンスを核とした運営、利用者サービスの向上を目指し、法人研修・施設内研修・外部研修等、多角的、重層的に人材育成強化を図ります。
 ・「持ち上げない介護」の継続的な実践や見守りセンサー等の活用で、職員負担を減らしながら利用者にとっても安心・安全な介護を進めます。
 ・多くの医療的なニーズに応えるため、それぞれのニーズに応じた技術向上のための研修を実施します。
 ・新規採用外国人職員に対しては、語学や介護技術等、個別に丁寧な育成していきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・安定した稼働を維持できるよう、セクション間でコミュニケーションを図り更なる連携を強化します。
 ・収支状況を踏まえ、各種加算取得状況の見直し・新規取得をすすめていきます。
 ・事業費・事務費の無駄をなくし経費の節減を図ります。消耗品、日用品について、その必要性を随時見直し、また委託業者の見直しを行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
介護支援ソフト更新 (居宅介護支援事業所)	1,340	送迎車 (ショートステイ利用者用) 介護支援ソフト更新	2,000 3,564				
購入等合計	1,340	購入等合計	5,564	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（特別養護老人ホーム）

施設名	ゆたか苑		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			4
			名
			名

【地域における施設ミッション】

自治体や地域と協力をしながら、介護が必要となっても地域で暮らし続けられるよう「介護・医療・福祉」を一体で提供するとともに、地域に合わせた多様なサービスに取り組むなど、開かれた施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
96.5%	94.6%	94.0%	97.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・「不適切ケア」のチェックを行い、虐待防止に努め、接遇向上の取り組みを継続します。
- ・認知症対象者や看取り介護時に症状緩和ケアを行うなど、心理的なケアを積極的に行います。
- ・個別支援やクラブ活動の際に地元商店街などへの外出活動を積極的に行い、利用者の社会性を維持する支援を行います。
- ・ICTの活用を積極的に進め、利用者の快適な生活空間の整備に努めます。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取り組み

- ・地域交流事業(体操教室、栄養教室)を継続して実施します。また、近隣町会との防災応援協定に基づき車椅子操作等、施設の専門的なケアを地域に還元します。
- ・地域住民対象のランチ交流会を開催、参加者の声に耳を傾け、地域の課題解決の一助を担います。
- ・施設設備を有効活用する為に地元自治体と協働して地域住民に対して開放します。
- ・居宅支援事業所を中心に地域包括支援センターとの連携を密にとり、地域包括ケアシステムに寄与します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・認知症等の専門研修に参加し、実践に必要な知識技術を修得、利用者のニーズに応える支援を行います。
- ・職員がやりがいと希望を持ち続けられる様に個別育成計画を立案、スキルアップや人材育成に努め、働きやすい職場環境を醸成します。
- ・今後の福祉を取り巻く環境を見極め、社会福祉実習生の受入れや外国人人材の育成に努めます。
- ・ICT導入を目指して施設課題を抽出、ワークライフバランスを見据え働き方改革に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・新規加算取得(再入所時栄養連携加算、褥瘡マネジメント加算、経口維持加算、口腔衛生管理加算等)に向けた情報収集や体制整備に努めます。
- ・老朽化した施設設備の改修を計画的に進め、コスト削減に努めます。
- ・収支状況や費用対効果を鑑みた業者の選定等、支出の見直しに努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
自火報設備工事	3,234	介護支援ソフト更新	4,592	エレベーター更新工事	27,830		
購入等合計	3,234	購入等合計	4,592	購入等合計	27,830	購入等合計	0

2020年度 事業計画（特別養護老人ホーム）

施設名	ひかり苑		
定員	50	名	
			短期入所専用
			空床利用
			4
			5
			名
			名

【地域における施設ミッション】

地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、社会的役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
98.7%	98.3%	98.5%	99.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・法人の理念と方針そして高齢者支援系グループ方針を遵守し業務を遂行します。
- ・利用者の人権を尊重し、自己決定に基づく自立した日常生活が送れるように支援します。
- ・「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに、個別ニーズに応じたサービスを提供し、安心して安全な「持ち上げない介護」を実践します。
- ・施設の老朽化に対して、法人の中長期計画に基づいて施設整備を行い、利用者に快適な住環境を提供します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・東村山市富士見町福祉施設連絡会と連携しながら、地域の防犯、防災に向けた「富士見町あいさつ運動」に積極的に参加します。
- ・東村山市福祉避難所連絡会に参加して、福祉避難所としての機能強化に向けて、役割を果たせるように取り組んでいきます。
- ・地域包括ケアシステム構築に向けて、自治体や地域と連携して地域に必要とされるサービスに取り組みます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員が安心して働ける職場環境を作り、職員の離職を防止して人材の定着と育成に努めます。
- ・介護実習、インターンシップ、職場体験等の希望者を積極的に受入を行い、介護のやりがいや魅力を体験してもらい、人材確保に繋がります。
- ・法人内外の研修に計画的に参加させて、サービスの質の向上、職員のスキルアップを行い福祉人材の育成を目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・コストの削減と新規加算の取得に努めるとともに、業務改善に多角的に取り組み、効率を高め安定した経営を目指します。
- ・経営基盤の安定と事業継続を効果的かつ適正に行うために、計画的に資金積立を行います。
- ・健全な経営を行うために、働き方改革を通して正規職員、契約職員、パート職員の配置の見直しを行い、財務基盤の安定を目指します。
- ・新規利用者の入所をスムーズに行うとともに、短期入所者を積極的に受け入れ年間稼働率(99%)を達成します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
居室リフォーム工事	1,859	温冷配膳車	1,485				
		介護支援ソフト更新	4,373				
		Wi-Fi環境整備工事	500				
購入等合計	1,859	購入等合計	6,358	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

2020年度 事業計画（認知症対応型老人共同生活援助事業）

施設名 **グループホーム かえで**

定員 **18** 名

【地域における施設ミッション】

昭島に住む高齢者が認知症になっても安心して暮らせるように、関係機関と連携しながら地域福祉の拠点施設としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
95.6%	97.3%	97.8%	98.5%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の有する能力に応じた、その人らしい自立した生活の実現に向けた支援をします。
- ・自治会のイベントや地域の催し物、ボランティアなどの社会資源を活用した多様なサービスを提供します。
- ・昭島病院訪問診療、訪問看護ステーションや訪問歯科医院と連携しながら利用者の健康維持を支援します。
- ・福祉サービス第三者評価の受審を通してサービスの質向上に取り組めます。リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭和郷高齢者複合施設全体の取り組みとして、引き続きさくらカフェを運営します。
- ・誰もが集えるカフェを創ります。
- ・飽きの来ないプログラムを提供します。
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。(前年比5%up)

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・時代の変化や多様なニーズに柔軟に対応できる専門職としてのスキルアップを図るためにOJTと並行して積極的にOFF-JTの機会をつくります。
- ・東京都で実施する認知症の研修に参加します。
- ・業務の無駄や無理を軽減して効率的なサービス提供と働きやすい職場づくりを目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・収入と支出のバランスのとれた経営基盤をつくり、安定した施設運営を目指します。
- ・目標とする施設利用率を達成するために退去等による空床期間の短縮化を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（認知症対応型老人共同生活援助事業）

施設名 原町グループホーム

定員 18 名

【地域における施設ミッション】

地域の方の「新宿で暮らし続けたい」という願いを地域と伴に支えます。新宿区の大切な社会資源として地域から必要とされる事業運営を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
96.0%	96.0%	96.0%	97.5%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者一人ひとりの有する能力を把握し、残存能力を活用しながら、自立支援に繋がるケアを行なっていきます。
- ・様々な行事や日々の活動を通して、活動量を増やし、活気ある毎日が送れるよう支援していきます。
- ・認知症の方でも安心して生活できるよう、研修の充実や見守りセンサーの活用で環境整備を行っていきます。
- ・認知症カフェやハプティックセラピー、ブンネ等を活用し認知症の緩和に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・認知症カフェを通し、地域の方と交流を行い、開かれた施設を目指します。
- ・施設見学や実習生等を積極的に受け入れ、地域の方に施設を理解して頂ける取り組みや機会を提供していきます。
- ・住み慣れた地域で今後も暮らしていけるよう、自治体や地域と協力していきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・認知症に関する各種研修を通して、専門職としての資質向上を図っていきます。
- ・外国人職員に対しては、孤独感・不安感を抱かないようOJTを中心に配慮していきます。
- ・職員間でのコミュニケーションを密に取り、チームでケアを行っていきます。
- ・職員の離職防止を図るため業務の見直し等も図っていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・コスト意識を全職員で共有し、光熱費や消耗品費の削減を図っていきます。
- ・高稼働率を維持することで、安定した経営状況を継続していきます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（高齢者デイサービスセンター）

施設名 **フジ・デイサービスセンター**

定員 **25** 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の方々が住み慣れた場所で安心して暮らしていくことができるように、居宅介護支援事業所やご家族、行政その他の福祉サービスと連携し、それぞれのニーズに応じたサービスを提供します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
85.0%	75.9%	74.0%	78.1%

◆ 利用者支援サービスの充実

居宅介護支援事業所を中心に、ご家族と行政、その他の福祉サービスとの連携を図りながら、その人らしい在宅生活を長く継続できる、きめ細やかなサービス提供に努めます。

◆ 地域社会への取組み

あきしま地域福祉ネットワークなどの活動に参加して、地域での課題や要望を理解し、地域福祉ネットワークの一員として、それらの地域での課題や要望に応じて行けるデイサービスセンターを目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

人材を効率的に配置できるよう、業務内容を随時見直していきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

コスト削減や新規加算の取得を目指します。年間稼働率目標に近づけるように一日平均利用人数20名以上の確保を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（認知症対応型高齢者デイサービスセンター）

施設名 原町デイサービスセンター

定員 12 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域密着型サービスとして地域とつながり、認知症高齢者の在宅生活を支援します。地域の認知症の理解を図り、安全安心な在宅支援の拠点となります。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
45.7%	37.8%	38.9%	50.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

・利用者個々の心身状況、在宅での生活状況の把握に努め、家族、他サービス事業者、居宅介護支援事業所、医療機関との連携を図ります。
 ・本人の生活に対するケアプランに基づき、アセスメントを的確に行い、在宅生活を支える視点でケアを展開します。そのために利用者の権利を守り、法令を遵守し、常に利用者主体によるケアを行いながら、認知症利用者の自立した在宅生活を支援します。

◆ 地域社会への取組み

・新宿区特有の道路環境を考慮し、安全安心な移乗・移動を行います。
 ・地域ニーズの高い医療的ケアを推進し、どなたでも利用しやすいデイサービスを目指します。
 ・年々地域での通所事業所は減少傾向にありますが、認知症高齢者世帯のニーズに沿った安定した在宅生活を支えて行きます。そして原町ホーム、居宅介護支援事業所、榎町高齢者総合相談センターや複合施設内の小規模多機能居宅介護センター、グループホームとも連携して地域の認知症ケアをつなぐ、地域特性を重視した施設運営を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・研修等により職員教育を進め、充実した認知症緩和ケア(ハプティックセラピー・ブネメソッド)を展開し、スタッフの人材育成をしていきます。具体的には施設で発生したヒヤリハットを検討・検証し、各スタッフと協働して適切なリスクマネジメントを行い、利用者の生活の安全や安心を図っていくよう人材を育成します。
 ・人員不足の中、離職防止を図る観点から研修の充実や職員間コミュニケーションの活発化を図っていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

地域特性と地域ニーズに即した認知症デイサービスを行い、前年度より少しでも稼働率を向上できるように、地域の居宅介護支援事業所へニーズの掘り起こしに努めていきます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（認知症対応型高齢者デイサービスセンター）

施設名 東大和市ふれあいデイセンターひかり苑

定員 12 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、社会的役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
69.4%	62.5%	66.0%	70.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・法人の理念と高齢者支援系グループ方針を遵守し、業務を遂行します。
- ・利用者の人権を尊重し「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに「個別ケア」に努めるとともに、自立した生活が送れるように支援いたします。
- ・施設の老朽化に対し、計画的に改修、修繕を行い利用者が快適に過ごせる環境を提供します。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るために防災マニュアルや緊急時マニュアルを整備、運用します。

◆ 地域社会への取組み

- ・東村山市富士見町福祉施設連絡会や東村山市通所サービス事業者連絡会、小平ボランティア担当者連絡会等に参加・協力し、地域に貢献するとともに、必要な情報を得ることから利用者へのサービスに反映します。
- ・地域包括ケアシステムを推進するため、地域の関係機関と連携を強化し、住み慣れた地域でいつまでも暮らせるようにするとともに、行事への参加の案内や近隣保育所等への南庭の開放など積極的に地域とか関わりを持ち、開かれた施設を目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職場内外の研修に積極的に参加し、サービスの向上、職員のスキルアップを目指します。
- ・デイ会議やミーティング等職員間のコミュニケーションを積極的に図れる場を設け、職員が心身ともに健康で、安心して働ける職場環境を目指します。
- ・実習生を積極的に受け入れることで、利用者の社会への関りを広げ、豊かな生活の一助とするとともに、将来の福祉現場の人材確保に繋がるようにします。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

コストの削減や新規加算の取得に取り組み、安定した新規利用者の獲得により、年間稼働率70%を達成します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（地域包括支援センター）

施設名 新宿区榎町高齢者総合相談センター

【地域における施設ミッション】

高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、「高齢者の何でも相談所」としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率(1日平均利用者数)

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
55.3名	53.6名	24.5名	40.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・一般高齢者や2号被保険者に対する支援体制を強化することで、認知症高齢者以外の利用者に対する支援機能の向上を目指します。
- ・認知症が疑われる高齢者について、物忘れ相談、認知症相談、認知症初期集中支援チーム事業等を活用することで、早期に適切な医療・介護サービスに繋がるように支援します。
- ・介護と医療の連携強化を進め、在宅療養支援体制の充実を目指します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域にある高齢者サークル等の地域資源との連携を強化することで、一般高齢者と高齢者総合センターの接点を増やします。
- ・地域における支え合いの体制の重要性について、区民等に普及啓発を行います。
- ・介護者向けの家族会や介護者教室を開催することで、介護者への支援を行います。
- ・担当地域の町会長からヒヤリングを行い、地域のニーズの把握と関係性の構築を目指します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・所内研修および自治体や関係機関が主催する研修での学びを通して、相談員としての技能を向上させます。
- ・ワークライフバランスを重視した職場環境の維持向上を目指します。
- ・社会福祉士や看護師等の実習生を積極的に受け入れることで、次世代の人材育成に寄与します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

継続的なコスト管理を徹底することで、健全な経営環境の維持を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（地域包括支援センター）

施設名 昭島市中部地域包括支援センターあいぽっく

【地域における施設ミッション】

高齢者が住みなれた地域で生活できるように、「自助・互助・共助・公助」の視点を大切に地域包括ケア実現に向けて事業を展開していきます。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率(1日平均利用者数)

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
46.9名	48.4名	24.7名	24名

◆ 利用者支援サービスの充実

・生活機能の低下を予防して要介護の状態にならないように、自立支援の視点を大切にしながら、介護予防のケアマネジメントを行います。
 ・第7期昭島市介護保険事業計画にそって昭島市や各包括支援センターと協働し、地域包括ケアシステムの推進に向けて、医療・介護・予防・生活支援・住まい等の関係者と顔の見える関係づくりに努めて、支援を行います。

◆ 地域社会への取組み

・市民に向けた情報提供に積極的に努め、地域包括支援センターの役割が周知・活用されるよう取り組みます。
 ・地域ケア会議において、社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師によるチームアプローチや、関係者と連携して、個別課題や地域課題の抽出に取り組んでいきます。
 ・昭島市の見守りネットワークの中心機関として、医療機関やインフォーマルサービス等も含めた、地域のネットワーク構築に取り組みます。
 ・老人会・自治会・サロンの参加や、センターだよりの配布、認知症サポーター養成講座等を通じて業務内容を理解してもらい、相談しやすい地域包括支援センターを目指します。
 ・社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師の三職種で密接な連携をはかりながら、昭島市の各地域包括支援センターとも連携して地域のニーズへの対応力を高めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・包括的・継続的ケアマネジメントに努め、高齢者が地域で自分らしい生活を安心して行えるよう、地域のケアマネジャーや他職種とも連携を深めます。
 ・介護保険事業所に対して、虐待に関する講義や疾患に関する講義を行い、スキルアップに努めます。
 ・ケアプラン点検や自立支援重度化防止にむけた介護支援専門員研修をもとに地域のケアマネジャーの指導を行います。
 ・看護学生、福祉系大学で社会福祉士を目指す学生の実習を受け入れ人材育成の一端を担います。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

サービスとコストを両立していけるようバランス意識を持った経営を心掛けます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（小規模多機能型居宅介護事業）

施設名 原町小規模多機能居宅介護センター

定員 25 名

【地域における施設ミッション】

要支援、要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援します。地域の認知症高齢者の生活を支える社会資源としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
85.0%	88.0%	89.0%	88.9%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・認知症になっても可能な限り在宅で暮らせるよう小規模多機能型居宅介護の柔軟なサービス形態を発揮し、関係機関と連携し、寄り添ったサービス提供を行ないます。
- ・その人らしさを大切にし利用者の生活に沿ったライフサポートプラン(ケアプラン)を立案、サービス提供を行ないます。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域の一員として、積極的に地域活動に参加します。
- ・地域から必要とされる事業所運営を行なうため運営推進会議を始め、地域ニーズを把握し事業所(複合施設)としての活動を行います(子供との交流イベント等)
- ・事業所の周知を図るために地域向けの見学会等を行ないます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・モチベーション向上のため研修の工夫や主体的な業務遂行の実践を引き続き行ないます。
- ・専門性を活かし、事業所内外で活躍できる人材育成に努めます。
- ・情報通信技術(ICT)の活用を進め、業務効率化を図ります。(研修や日常の記録作業)

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・稼働率(登録人数)と介護度のバランスを注視し安定した施設運営を目指します。
- ・新たな加算(サービス提供体制加算Ⅲ)を取得し収支に反映させます。
- ・業務効率化を図り、無駄を省きコスト削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（小規模多機能型居宅介護事業）

施設名 昭和郷小規模多機能居宅介護センター

定員 25 名

【地域における施設ミッション】

要支援、要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援します。地域の認知症高齢者の生活を支える社会資源としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
57.8%	80.0%	64.0%	87.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・通い、訪問、泊りサービスを柔軟に組み合わせて、臨機応変に生活を支えます。
- ・サービスマナーの向上を図り、質の高いケアを目指します。
- ・アセスメントを実施する期間を定め、定期的実施していきます。
- ・医療機関などと連携しサービスを提供します。
- ・ボランティアを受け入れ、日中の通いプログラムの充実を図ります。リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対策や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、引き続きさくらカフェを運営します。
- ・誰もが集えるカフェを創ります。
- ・飽きの来ないプログラムを提供します。
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。(前年比5%up)

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・スキルアップのための研修(複合施設合同研修を含む)を実施します。
- ・東京都で実施する認知症の研修に参加します。
- ・新人育成のプログラムを作成します。
- ・適宜業務内容を見直し働きやすい職場環境にします。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・登録者22名を目指します。
- ・適正な職員配置に努めます。
- ・業務改善を図り、業務過多を減らします。

【施設・設備整備計画】

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

(千円)

2020年度 事業計画（定期巡回・随時対応型訪問介護看護等）

施設名 昭和郷訪問介護センター

【地域における施設ミッション】

高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、「高齢者の何でも相談所」としての役割を果たします。

【重点項目】

- ◆ 施設目標利用率（定期巡回・随時対応型訪問介護看護／1日平均利用者数）

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
14.1名	16.8名	23.0名	27.0名

- ◆ 利用者支援サービスの充実

・居宅サービス計画を基に、計画作成担当者、サービス担当責任者が計画書を個々に作成し、支援を行います。計画書は随時見直し、柔軟で適切な支援につなげます。
 ・要支援者の生活を支えるための善きパートナーとなるべく、日常より適宜な相談及び情報提供を行うことで緊密で良好な関係を保てるように努めます。
 ・介護医療連携推進会議を定期的に開催して透明性の確保を図ります。
 ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対応や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

- ◆ 地域社会への取組み

・昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、引き続きさくらカフェを運営します。
 ・誰もが集えるカフェを創ります。
 ・飽きの来ないプログラムを提供します。
 ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。(前年比5%up)

- ◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・在宅介護の専門職として情熱とスキルを持った職員を育成するために、月1回の研修(複合施設合同研修を含む)を実施します。
 ・新規採用時には、個々の能力に合わせて十分な同行訪問などを行い、訪問介護の基礎の習得に努めます。

- ◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・定期巡回を中心に4事業の拡大を図るとともに、適宜な人員配置及びサービス調整を行い、利用者獲得と安定経営を図ります。
 ・総合ケアマネジメント加算の算定も続け、安定した収益源とします。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（サービス付き高齢者向け住宅）

施設名 さくらガーデン

定員 49 室

【地域におけるミッション】

住み慣れたこの街、この地域で本人の意向を十分に尊重し、その人らしい暮らしを続けることができるよう質の高いサポート・支援を提供します。また関係諸機関等とも連携し地域包括ケアシステムの構築に努めます。

【重点項目】

◆ 目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
87.1%	93.2%	93.0%	95.0%

◆ サービスの充実

- ・入居者面談を通じニーズを具体的に把握し、適正な生活の構築に努めます。
- ・地域資源、催し物等の情報を提供し、入居者の社会参加を手伝います。
- ・リスクマネジメントの観点から利用者の安心・安全を守るためにも、感染症対応や防災マニュアル、災害時における事業継続計画(BCP)の随時見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・昭和郷高齢者複合施設全体の取組みとして、引き続きさくらカフェを運営します。
- ・誰もが集えるカフェを創ります。
- ・飽きの来ないプログラムを提供します。
- ・地域の方への認知度を高め来場者増を目指します。(前年比5%up)

◆ 人材の育成と職場環境の整備

- ・入居者が気持ちよく生活できるように、細やかな配慮のできる職員を育成します。
- ・サービス付き高齢者向け住宅協会の実施する研修を通して、サービスの質の向上、現職員のレベルアップを目指します。
- ・厨房スタッフの衛生知識の向上を目指して、保健所の実施する研修に参加します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・円滑な入退居支援を実施します。
- ・コスト削減のために支出状況の見直しを行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

3. 障害者支援系施設の経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター、共同生活援助事業並びに特定相談支援事業等を経営します。

1 グループ方針

・法人の中長期計画に基づき安定した経営基盤の確立を目指すとともに、報酬改定を含む障害施策の動向を注視して事業経営にあたります。
・多様なニーズに応えられる専門性と倫理意識の高い人材の確保と育成を行います。
・地域に必要とされる社会資源の一つとしてその機能を十分に発揮し、共生社会の実現に向けて地域との連携をより強化していきます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

・虐待防止研修、地域連携ネットワークなどを活用し、組織としての意識の向上を図り、不適切な支援の根絶を目指します。
・サービス等利用計画と個別支援計画との連動性を強化し、利用者一人ひとりの意思決定が尊重され、豊かな暮らしへと繋がるよう質の高いサービスを提供します。
・近年増加が著しい発達障害等への理解を深め、ニーズに応えられるよう支援力の向上に努めます。
・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、さらには感染症対策の強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・新たなニーズに対応できるように、各事業所における特徴を活かすとともに、施設機能をさらに高め地域の方々の暮らしを支援します。
・施設と地域が交流するためのお祭りや講演会などを実施し、障害者の理解を深める機会とするとともに、社会に根差した貢献ができる施設を目指します。
・地域の特性や施設の特徴を生かした社会貢献事業を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・計画的な人材育成を進め、多様な事業運営に対応できる人材の確保に努めます。
・研修等を通して、支援力の向上と福祉従事者としての誇りが持てるような、職場風土の醸成に努めます。
・グループホーム利用者の生活が豊かで、尊厳が保たれるよう、世話人等の資質の向上、バックアップ体制の強化を図ります。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

・報酬改定等の国や都の動向を常に注視し、即応できる体制を整えます。
・安定した施設運営となるよう、稼働率の向上、加算等の見直し、コストの削減等を図り、健全な運営と効率的な経営を目指します。
・指定管理における運営の継続が図れるように、地域住民および行政機関からの信頼を得た運営を行います。

1 障害者支援施設

障害者総合福祉法の多機能型施設として施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行います。

2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い、心身障害者の自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行います。

3 身体障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している15歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、心身障害者の自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図ります。

4 共同生活援助(グループホーム)

障害のある方に対して、主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排泄または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。

5 特定相談支援事業

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援)を行います。自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた、ケアマネジメントを行いきめ細かく支援します。

2020年度 事業計画（障害者支援施設）

施設名	さやま園		
定員	96	名	
			短期入所専用
			施設入所支援
			特定相談支援事業
			4
			96
			名
			名

【地域における施設ミッション】

行政や他事業所と連携し、入所者の生活の充実及び地域移行の促進を図り、知的障害の福祉の中核的拠点としての役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率（施設入所支援）

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
93.1%	96.3%	96.0%	96.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・高齢化及び重度化する利用者が、安全で安心して生活が送れるよう、天井走行リフト機能を備えた浴室改修などを実施し、環境設備の改善を行います。また、健康な生活が送れるよう感染症対策の強化を図るとともに、エンジョイ委員会・OT・PT等の機能を強化し、器具の導入を図りながら個別リハビリ、集団リハビリなどを積極的に取り組みます。
- ・地域移行が可能な利用者へ、生活面と社会性の習得へ向けた自立支援を行います。
- ・本人の望む生活が送れるように、個別外出・旅行などを計画し、豊かで楽しい生活となるよう支援します。
- ・事業継続計画(BCP)の見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域の催しへの作品販売、近隣のお店やレストラン等の利用による社会とのふれあい、連携を図り、お祭り、ワークショップなど、地域の方を招いた催しを開催して、地域に溶け込んだ施設を目指します。
- ・社会貢献事業として、中間的就労者を対象に、一般就労へ向けて働くための体験の場の提供を継続します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・内外部での虐待防止研修やグループワーク、ケースカンファレンス等を定期的に行い、職員一人ひとりの意識とスキルの向上を図り、組織全体としての底上げを目指します。
- ・職員の得意技術を生かした研修(介護、パソコン等)を実施することで、自発性を持った職員の意識の変革とスキルの向上を図り、働きやすい環境づくりを目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・報酬改定による収支状況を踏まえ、加算の見直しなどを随時行います。
- ・利用者の退所に伴う空席期間を短くし、安定した稼働を目指します。
- ・適切な予算計画(予算委員会による検討)と執行を行い、計画的な運営を目指します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
1・2Fトイレ手摺改修工事	855	2F入浴室改修工事	15,967	トラック	1,600	低床ベッド(×3)	1,000
電解水生成装置	928	樹木剪定	770	食器乾燥機	1,470		
南棟小型汚物処理機	1,150	冷蔵庫食器乾燥庫	1,520				
湿温蔵庫	1,200	冷温水発生器撤去	4,653				
購入等合計	4,133	購入等合計	22,910	購入等合計	3,070	購入等合計	1,000

(千円)

2020年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	小茂根福祉園		
定員	生活介護	40	名（通所）
	就労継続支援B	30	名（通所）
	計	70	名

【地域における施設ミッション】

住み慣れた地域での「私らしい暮らし」を支援します。
地域と協働し住みやすく優しい街づくりに貢献します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
85.7%	83.8%	83.1%	86.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・虐待防止及び不適切な支援の根絶を目指し、利用者が望む生活や主体的に意思決定ができるように多様な選択の機会や社会参加の機会を提供し、また、関係機関や地域の方々と連携して支援にあたります。
- ・アート活動や自主生産品(KOMONEST・COFFEE)販売を促進し、安定した工賃の支給を目指します。
- ・個別ニーズの見直しを行い、個別支援計画に基づく支援の充実に努めます。
- ・行動障害への支援力を高めます。
- ・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、さらには感染症対策の強化に努めます。

◆ 地域社会への取り組み

- ・板橋区にある施設として、近隣施設や事業所と積極的に交流し、地域に認知される施設を目指します。また、ボランティアの受け入れ等を通じて地域の方々に施設を理解していただき、施設の機能を地域に還元できるように取り組みます。
- ・板橋区社会福祉法人施設等連絡会と連携し、地域公益活動（フードバンク）や防災連携、地域ニーズに応える活動に参画します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・園内の2事業の職員の交換研修を行い、チーム小茂根として事業運営に当たります。また専門性と倫理観の高い職員育成を目指し、OJT/OFF-JTに取り組みます。
- ・福祉機器の活用等により、腰痛の予防などの安全・安心な介護に努めます。また、事務処理等の見直しを図り、働きやすい職場環境に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・指定管理の最終年度にあたり、次期更新に向けて、5年先を見据えた事業提案ができるように取り組みます。
- ・板橋区の第6期障害福祉計画策定の動向と区立福祉園の民営化案の動向に注視し、今後の事業運営について所管課と密に協議していきます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		2F天井補修工事	700	男女トイレ温水工事	800		
		個別空調設備工事(×2)	1,400				
購入等合計	0	購入等合計	2,100	購入等合計	800	購入等合計	0

2020年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名

立川福祉作業所

定員

就労移行

6

名（通所）

特定相談支援事業

生活介護

30

名（通所）

就労継続支援B

44

名（通所）

計

80

名

【地域における施設ミッション】

地域の中の通所施設の役割を意識し、住み慣れた街での生活、社会貢献の責任、地域ぐるみの災害対策に取り組めます。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
99.6%	90.1%	96.0%	95.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

・利用者の働く場として、平均工賃20,000円(就B)を目指します。パン販売のエリア開拓や地元産の食材を利用するなど、地域との連携をさらに深めます。
 ・受注作業は作業種の見直しを継続し、活気ある作業所を目指します。生活介護の支援の工夫や他の地域サービスの体験の機会は、それぞれのペースに合わせ計画し、状況の変化に柔軟に対応できる準備をします。また、有事に備えた、感染症対策、BCPにも取り組みます。

◆ 地域社会への取り組み

・社会貢献事業は、夜間専修学校へのパン提供を継続します。また、引きこもりの家族会への会合場所提供のほか、法人内の事業所と生活困窮者等への支援を連携します。いずれも過剰負担にならないバランスを考慮します。
 ・将来選ばれる職業として市内の中学生などに職場体験を企画するなど施設を社会資源として活用します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・虐待防止の意識を浸透させ、合理的配慮を備えた支援を実施します。
 ・個別支援計画の充実を図り、PDCAのサイクルがまわるようにします。
 ・ケアマネジメントの手法を理解し、支援に結び付けられるよう学習会を開催し、研修します。
 ・ノー残業デーを設定した働きやすい職場づくりを目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

・定員の充足を図り、利用者の通所利用率を向上させ、施設収入を増やします。また、無駄を省き計画的な執行を目指します。
 ・利用者へ支給している交通費に関しては、検討を継続します。
 ・今後、大幅な収入増は見込めないため、委託や行事、上記交通費など費用について洗い直します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（障害者福祉サービス事業）

施設名	東村山生活実習所					
定員	生活介護	30	名(通所)	短期入所専用	2	名
	就労継続支援B	10	名(通所)			
	計	40	名			

【地域における施設ミッション】

地域と協働しながら利用者・保護者・地域のニーズの解決に向けて取り組みます。地域から信頼され誰からも必要とされる魅力ある施設を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
92.6%	96.1%	92.2%	96.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・虐待防止の徹底と権利擁護を守りながらニーズ実現や意思決定支援等に取り組み、質の高いサービスを提供します。
- ・意思決定支援に理解を深め、個別支援計画に反映し利用者の自己実現に向けて取り組みます。
- ・利用者の安全、安心を守るためBCP(事業継続計画)防災・防犯・感染症対策の整備を進め事業継続に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・リサイクル活動や製パン販売など、地域と関わりを持ち活動を充実し、利用者の社会参加を促進します。
- ・東村山市自立支援協議会・暮らしの相談ステーション・富士見町連絡会・東社協通所分科会などに参画し地域の課題解決を図り、共生社会の実現へ取り組みます。
- ・特別支援学校・大学・専門学校などの学生と卒業後の進路の選択に向けた実習等の受け入れを行い、地域の社会資源として機能します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・研修参加により職員の成長と専門性を高めます。また研修報告の場をもうけ情報や知識を職員全体で共有し、施設全体の底上げを目指します。
- ・業務の効率化とワークライフバランスの実現により働きやすい職場環境を整備します。
- ・エルダー制度による新任職員の教育を充実します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・安定した施設運営を行うため、利用者の弾力的な受け入れや利用率の向上に取り組みます。
- ・関係機関に向けて定期的に施設情報を発信し、施設の取り組みに理解を深め、新規利用者につなげます。
- ・収支状況を踏まえながら加算の見直しや新たな加算への準備に向け努力します。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				送迎車	4,657		
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	4,657	購入等合計	0

(千円)

2020年度 事業計画（心身障害者福祉ホーム）

施設名	さくらんぼ		
主な事業	長期自立援護	特定相談支援事業	
	短期自立訓練	移動支援事業	
	緊急一時保護	自立生活援助事業	
	レスパイト	豊島区西部障害支援センター	

【地域における施設ミッション】

利用者のニーズに合わせ、24時間、365日サービスを提供し、住み慣れた地域で安心した生活が送れるように支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率(1日平均利用者数)

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
8.7名	7.8名	9.2名	9.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・自主事業として新たに自立生活援助事業を開設し、長期自立援護を終了した方や、施設等から地域へ出て、一人暮らしを始める方に対して、訪問、相談、調整など定着に向けて支援します。
- ・社会参加の機会や活動及び選択の機会を提供し、意思決定支援による利用者の自己実現を支えます。
- ・外部モニター(学生等)の活用により客観的な意見を徴し、支援や環境の見直しを図り、利用者が安心して過ごせるよう取り組みます。
- ・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、さらには感染症対策の強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

- ・豊島区社会福祉法人ネットワーク会議に参画し、地域公益活動としての「福祉なんでも相談窓口」事業を継続して行っています。法人同士で協働し、周知活動及び実績を積んでいきます。
- ・地域支援協議会等様々な会議体に参加し、地域における障害福祉事業の発展に貢献していきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員一人ひとりの希望やキャリアに応じた研修計画による計画的な人材育成を図ります。
- ・職員主導による内部研修(OJT含む)を引き続き充実させ、活気ある職場風土の醸成と、職員全体の支援力を目指し、利用者の虐待防止と権利擁護に取り組みます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・3年後の大規模改修を見据え、事業運営の在り方について区と協議を進めていきます。
- ・西部障害支援センターの次期3年間について受託に向けて準備を進めます。
- ・効率的な管理運営を行うために、省エネ、省資源などコスト削減に取り組みます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（身体障害者福祉センター）

施設名 **さいわい福祉センター**

主な事業	地域活動支援センター事業	生活介護
	都型ショートステイ事業（宿泊）	就労移行支援事業
	日中一時支援事業	居宅介護事業
	就労支援事業	特定相談支援事業

【地域における施設ミッション】

24時間365日、いつでも安心・安全・快適をお届けします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率（1日平均利用者数）

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
24.5名	23.4名	20.1名	23.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

・利用者対応においては、懇切丁寧を基本とし、いつでも相談のできる体制を作り、解決する場として取り組んでいきます。また、利用者の人権、意思の決定に関することなど高い倫理観をもって、利用者支援にあたります。
 ・事業継続計画（BCP）の見直し等を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、さらには感染症対策の強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・障害をもつ方々が地域でいきいきと活躍（就労、福祉的就労、余暇活動など）できるよう、必要な関係機関、地域の方々と連携していきます。
 ・市の福祉施設等の中核として、様々な課題に対して共に考え、連携を強固にし、地域の福祉力の向上を図っていきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・センター事業は多岐にわたっており、担当部署での責任をもった業務遂行のみならず、全体の事業についても関心・責任を持ち、職員全員で事業を支えているという職場風土を作っていきます。
 ・支援をサポートする上でICTの活用が求められているところであり、重度の障害者の意思決定支援などコミュニケーションを補助するものに関して、その充実を図っていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・指定管理制度の最終年であり、委託費の適切な、また計画的な執行を行っていきます。建物等の修繕等についても、経年劣化等による故障、不具合が散見されており、市と協議しながら、予算執行を行っていきます。
 ・指定管理における運営の継続が図れるように、地域住民及び行政機関からの信頼を得た運営を行います。

【施設・設備整備計画】

（千円）

第1期（4～6月）		第2期（7～9月）		第3期（10～12月）		第4期（1～3月）	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
高圧ケーブル更新工事	1,990	自火報設備工事	2,470				
冷却塔改修工事	3,553	非常放送設備工事	1,672				
購入等合計	5,543	購入等合計	4,142	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（共同生活援助）

知的障害者グループホーム

		定員	
施設名	アミニティ富士見	6	名
	グリーンハイツ	6	名
	フレンズ・モエ	4	名
	パル	6	名
	それいゆ小川	7	名
	ファーム竹丘 1	6	名
	ファーム竹丘 2	7	名
	風のね	10	名
(上記8ヶ所のバックアップ施設: さやま園)		52	名
施設名	レヂオンス巣鴨	4	名
	はなみずき	4	名
	ユーカリ	4	名
(上記3ヶ所のバックアップ施設: さくらんぼ)		12	名
施設名	夢オハナ	6	名
	結オハナ	6	名
(上記2ヶ所のバックアップ施設: 立川福祉作業所)		12	名

【地域における施設ミッション】

一人ひとりの豊かな地域生活を支援します。

【重点項目】

◆ 利用者支援サービスの充実

・意思決定支援・合理的配慮に基づき、利用者の意向を尊重した個別支援計画を作成します。また家庭的な雰囲気大切に、和やかで安定した生活が送れるよう支援します。
 ・高齢化や精神的課題など、多様化するニーズに対し、様々な社会資源を有効活用しながら豊かな生活が送れるよう支援します。
 ・防災・防犯訓練を計画的に実施し、有事に備え、安心して生活できる環境整備を行います。
 ・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、さらには感染症対策の強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

・関係機関や近隣、地域との関係を深め、利用者の社会参加と自立促進を目指します。
 ・地域の自治会やボランティア活動に参加し、地域の一員として社会に貢献します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・虐待防止、合理的配慮、意思決定支援等、利用者の権利擁護に資する外部研修への参加を促進し、世話人全体の支援力向上を目指します。
 ・情報を共有し、いつでもバックアップができる体制強化を図るとともに、世話人が安心して働ける職場環境を整えていきます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・報酬改定や都加算見直しによる収益への影響に注視し、安定的に経営ができるよう取り組みます。
 ・都加算の補助要件となった第三者評価の受審及び世話人の外部研修受講を計画的に進めていきます。

4. 児童・女性支援系施設の経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設、児童厚生施設を経営します。

1 グループ方針

- ・利用者の人権や尊厳を尊重します。
- ・個別支援計画に基づいて自立を支援します。
- ・安心・安全で快適な生活環境を提供します。
- ・関係機関との連携強化を図り、地域公益活動を進めます。
- ・職員の専門性と資質向上に努めます。

2 グループ目標

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者自身が安心できる環境の中で自尊心を高め、自己決定できるよう支援の充実を図ります。
- ・利用者一人ひとりの自立支援は、関係機関と連携し、自立支援計画に基づき適切に実施します。
- ・防犯防災対策を強化し、利用者に安心安全な生活環境を提供します。特に、BCP、感染症対策の見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供し、学習支援や遊びを通して健全育成に努めます。
- ・施設機能や行事を通して、豊かな情操を育み、社会生活を学ぶ機会を提供します。
- ・地域の母子が安心して過ごせる居場所を提供します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・キャリアパスに基づいた育成と処遇改善を進め、意欲の向上を図ります。
- ・働きやすい職場環境づくりに努めます。
- ・課題を抱える利用者に対応できるようグループ共通課題の研修を実施し、専門性を養います。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・関係機関との連携を図り、各施設が利用者増を図ります。
- ・サンライズ万世、双葉園は大規模修繕工事を計画的に実施します。
- ・サンライズ武蔵野は広域利用開始に向けて杉並区との協議を進めます。
- ・常に社会的養育をめぐる施策の動向等の把握に努め、各施設が加算要件を満たして収入増を図れるよう努めます。

1 母子生活支援施設

18歳未満の子供を養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援します。

2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援します。

3 婦人保護施設

売春防止法に基づく未然防止と自立のための支援を必要とする女性を保護し、生活及び就労支援を行います。

4 児童厚生施設

児童福祉法により定められた福祉施設として、児童に健全な遊び場を提供し、健康を推進して豊かな情操を育てるために児童センターを運営します。

2020年度 事業計画（母子生活支援施設）

施設名	サンライズ武蔵野		
定員	20	世帯	緊急一時保護
			1
			世帯

【地域における施設ミッション】

母子の「こころ」を支え、安全で安心できる環境を提供し、自立に向けて支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
75.4%	73.6%	92.5%	95.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・利用者の意思を尊重した自立支援計画を策定し、関係機関と連携して自立を支援します。
- ・学童は面談、自立支援計画の策定、振り返りを計画的に行い、一人ひとりに合わせた支援を行います。
- ・保育室を整備し、未就園児の保育を充実させ、就労支援を強化します。
- ・余暇行事や図書を充実させ、日常を豊かに過ごせる環境を整えます。
- ・館内整備や安全な環境を提供します。感染予防対策により、安全で快適な環境を提供します。
- ・BCPの見直しを行います。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域のひとり親家庭に向けて電話相談を継続します。
- ・杉並区社会福祉協議会における地域公益活動に参画し、施設の資源を地域に提供します。
- ・施設の開放や、地域向け行事（バザー等）を開催し、退所者や地域の方との交流の機会を提供します。
- ・地域住民に向けた講座を開催し、地域の機関と協力して施設の機能を提供します。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・法人のキャリアパス制度に基づき、研修に計画的に参加しキャリアアップと職員処遇を進めます。
- ・利用者の見立てや産前産後研修を職場内研修として実施し、職員の資質向上を図ります。
- ・実習生を受け入れ、将来の福祉人材の育成を図ります。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・広域利用開始に向けて杉並区と協議を進め、利用率の増加を図ります。
- ・措置費、サービス推進費の加算を取得し、収入の増加につなげます。
- ・コスト意識の徹底を図り、支出の削減を行います。
- ・月別予算により適正な執行管理を行います。
- ・改築後8年目を迎え、計画的に建物等の維持管理、点検を行います。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				共用部壁紙補修工事	990		
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	990	購入等合計	0

2020年度 事業計画（母子生活支援施設）

施設名 サンライズ万世

定員 20 世帯

緊急一時保護 2 世帯

【地域における施設ミッション】

母と子が地域社会で共に生き、共に育ち合う生活拠点の役割を果たします。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
92.2%	92.0%	92.5%	95.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・一人ひとりの意思や人権を尊重し、個別自立支援計画に基づく支援を提供します。
- ・関係機関と連携を密にし、母子が適切に課題解決に向かうよう支援に努めます。
- ・精神的ケアの充実のため、アタッチメントを中核に据えた支援を行います。
- ・子どもの健全育成を目指し、学習支援と生活支援に努めます。
- ・アフターケアを計画的に進め、相談援助や社会資源の提供等により生活を支援します。
- ・BCPの行動計画見直しと訓練実施に取り組めます。
- ・感染症対策(新型コロナウイルス含む)に取り組めます。

◆ 地域社会への取り組み

- ・地域児童の居場所として、施設の集会室や学習室を開放し、安心安全な環境を提供します。
- ・6年目のこども学習室は、担当チームが中心となり運営します。
- ・「地域無料心理相談事業」を継続して参ります。(平成22年度より継続)
- ・フードバンクと連携し、地域世帯への食材提供するなどフードロスに取り組めます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・相談援助や保育士養成および介護体験等の学生を積極的に受入れ、人材の確保育成を図ることで、職員のスキル向上も目指します。
- ・キャリアパスに連動した職員個別の育成計画(研修計画含む)により、指導・育成に努めます。
- ・他法人との施設間交流や派遣研修により学びを深め、事業運営に活かします。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・年間利用率90%以上を継続することで、暫定定員を回避し最大限の措置費収入を確保します。
- ・新たな加算に取り組むことで収入増を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
受水槽加圧ポンプ改修工事	2,200	自火報設備工事 (2カ年計画第2期目)	900			大規模修繕工事 (2カ年計画1%分)	3,360
購入等合計	2,200	購入等合計	900	購入等合計	0	購入等合計	3,360

2020年度 事業計画（児童養護施設）

施設名	双葉園		
定員	双葉園	38	名
	高嶋の家(地域小規模)	6	名
	くすのき(地域小規模)	6	名
	計	50	名

昭島市子どもトワイライトステイ事業 2 名

【地域における施設ミッション】

子どもの人権を守り自立を支援し、地域社会と連携して福祉サービスの向上に努めます。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
95.6%	94.9%	98.0%	100.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・子どもが安全で安心した生活が送れるように権利擁護の意識を高め、愛着形成を土台とした他者との信頼関係を構築していきます。
- ・子どもの最善の利益、相互尊重の共通理解の基に、チームケアを推進します。
- ・アセスメントを基に自立支援計画を作成し、入退所、アフターケアと一貫性ある支援を行います。
- ・予想される課題に対応するために、専門機関等の社会資源と適切に連携を図ります。
- ・災害対策として、BCPの見直しと感染症対策への取り組みを行います。
- ・児童のケア形態の小規模化に向けて、検討を進めます。
- ・建物外壁防水塗り替え大規模修繕工事、自動火災報知設備更新2期目を計画的に実施します。

◆ 地域社会への取組み

- ・「要保護児童対策地域協議会」へ参加し、学校や各区市家庭支援センター等と連携を深めます。また、トワイライトステイ事業を通して、地域の子育てを支援します。
- ・同援こども学習室を児童女性支援系グループで連携して実施し、社会貢献を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・人材育成、職員の定着を最優先課題として、きめ細やかな人事管理を行い、職員の働きがいがあり、意欲が向上する職場作りを行います。
- ・多様化する子どもの課題に対応するために、専門職を配置し、多職種の連携による業務の円滑な執行に取組みます。
- ・質の良い支援者となるよう、相互尊重を基本として人間性、倫理性、専門性を高め、職員自らも資質の向上に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

施設整備の維持管理をし、適切に予算を執行して、円滑な事業活動に努めます。

【施設・設備整備計画】

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
PC(×4)	531	自火報設備工事 (2カ年計画第2期目)	1,074			大規模修繕工事 (2カ年計画1%分)	1,815
購入等合計	531	購入等合計	1,074	購入等合計	0	購入等合計	1,815

(千円)

2020年度 事業計画（婦人保護施設）

施設名 **いこいの家**

定員 **40** 名・世帯

【地域における施設ミッション】

女性の人権を守り、その自立を支援します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
32.4%	29.4%	30.0%	33.0%

◆ 利用者支援サービスの充実

- ・専門職が連携し、一人の利用者を多方面から見て支援が出来るよう、情報の共有、報告・連絡・相談の徹底を図り、チームケア体制の充実を進めます。
- ・自立へ向けてステップハウスを活用します。
- ・女性としての心と体を知り、自分を守る力を養えるように支援を行います。
- ・BCPを見直します。
- ・感染対策マニュアルを見直します。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域の社会資源を探し、つながりを持ち、必要であれば支援に活用する関係を作ります。
- ・地域貢献事業として空き部屋を活用できるように関係機関に働きかけます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・職員個別の育成計画により、法人内やグループ内研修、外部研修に積極的に参加し専門性を養います。
- ・可能な限り実習生を受け入れ、女性支援の現状や問題点などを学ぶ機会を提供し人材育成のきっかけとします。
- ・女性支援に関する国の動向に注目し、都内の他施設や関係機関と情報の共有に努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・消耗品、日用品についてその必要性を随時見直し、事業費・事務費の無駄をなくすことで経費削減を図ります。
- ・関係機関との連携を図り、利用者増になるよう努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
2F網戸交換工事	500						
購入等合計	500	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2020年度 事業計画（児童厚生施設）

施設名 昭島市児童センターぱれっと

【地域における施設ミッション】

子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所を提供し、遊びや行事を通して健全な児童育成を目指します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率(1日平均利用者数)

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
169.1名	161.3名	165.0名	170.0名

◆ 利用者支援サービスの充実

・子育て支援の拠点として遊び文化の伝承に努めるとともに、居場所の提供や施設利用の中核となる児童の育成を目指して、小学校高学年向けの遊びを提供する時間を設けます。また、行事等を通して、乳幼児や親同士の繋がりを考慮した子育て仲間づくりを推進します。
 ・事業継続計画(BCP)の見直し等を行い、災害時に即応できる防災対策、防犯体制の充実、さらには感染症対策の強化に努めます。

◆ 地域社会への取組み

保護者や子どもを中心とした施設集会室の貸し出し事業を実施し、広く地域の方々に利用してもらうとともに、季節行事やボランティア等によるコンサートの実施を通して施設理解に繋げていきます。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

職員研修の充実をはかり、専門性を備えた人格の醸成、接遇マナーを高め地域に信頼される児童の居場所となるよう努めます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

昭島市との調整をはかりながら、適正な人件費を引き続き維持し、事業費、事務費の無駄を極力おさえ、経費節減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

5. 医療事業施設の経営

2020年度 事業計画（医療事業施設）

施設名 昭島病院

定床 199 名

【地域における施設ミッション】

地域に根差した病院を目指して、急性期から回復期まで、すべての患者皆様に安全かつ質の高い医療を提供します。

【重点項目】

◆ 病床目標利用率

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
68.1%	69.3%	75.3%	83.4%

◆ 目標患者数(1日あたり平均)

入院	外来
166名	430名

◆ 救急車目標受入台数(1ヵ月あたり)

84 台

◆ 利用者支援サービスの充実

・患者数(入院・外来)の増へに向けた取組み
他院、地域診療所等と連携し、急性期、包括ケア、回復期など病院機能を活かし紹介患者受入増及び救急車、時間外患者を最大限受けるよう努めます。
入院から退院、退院後の医療や生活までの相談及び支援をきめ細かく行います。

・患者サービスの向上
医療情報システムを利用し、待ち時間の短縮や患者情報一元化による患者サービス及び医療安全の向上を目指します。
新患患者については、受付で全科の問診を行い必要な検査を先に行うなど患者を誘導し、再診患者については予約枠の拡大をして、待ち時間の短縮を図ります。

・医療保護施設としての役割
無料低額診療施設として、積極的に相談を受け、必要な医療を受けやすい環境を提供します。

◆ 地域社会への取組み(地域医療の充実・地域包括ケアへの取組み)

・地域包括ケアシステムの推進
昭島市・医師会等三師会・昭和郷施設・近隣事業所と協働し、担当者間の連携を充分に図ります。
健康サロンの運営に参画します。

・災害時対応の強化
東京都の「災害拠点連携病院」として、昭島市、昭島医師会、昭和郷施設との災害対応の連携及び体制強化を図ります。

・訪問診療の拡大へ向けて体制の検討を行います。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

・働き方改革の取組み
人員充足に努め、特に、医師、看護師の職場環境の整備を進めます。

・健康増進法の取組み
禁煙を促進するため、試行として健康増進手当を支給します。

・業務に役立つ研修会の実施
身近な問題をテーマとし、より実践的なスキルの習得を目指します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・患者数の確保
入院・外来患者の目標数を達成するため、病院・診療所等からの紹介患者の受入れ、安定した病床稼働にしていくため、ベットコントロールミーティングを継続します。

・病床稼働率の向上
医師を確保し、病床稼働率83%～86%を目指します。

・経費の削減
法人のスケールメリットをいかした物品の購入など支出の適正化を図り、経費の削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
セントラルモニター	5,610					電動ベッド(×30)	9,900
						冷温蔵配膳車(×2)	3,817
						麻酔器	12,650
						経鼻スコープ	3,267
購入等合計	5,610	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	29,634

2020年度 事業計画（訪問看護ステーション）

施設名 昭島病院訪問看護ステーション

【地域における施設ミッション】

利用者が、慣れ親しんだ地域や家庭で、安心して療養生活を送れるよう看護師が訪問し、看護ケアを提供します。

【重点項目】

◆ 施設目標利用率(1日平均訪問回数)

H29(2017)年度実績	H30(2018)年度実績	2019年度見込	2020年度目標
12.7回	10.7回	12.4回	16.0回

◆ 利用者支援サービスの充実

・高齢者の多様な生活状況に寄り添い、安心して在宅生活が送れるよう24時間体制で看護ニーズに対応します。
 ・昭島病院総合支援センターと密に連携し、入院から在宅、在宅から入院へのスムーズな対応と調整に努めます。

◆ 地域社会への取組み

地域包括ケアシステムの一事業所として、病院、昭和郷施設、近隣事業所と協力し多職種連携で地域を支える関係を作ります。

◆ 福祉人材の育成と職場環境の整備

各々のキャリアアップの取組みを推進し、職員から高い動機付けを持って利用者へのサービスを提供できるような環境を整えます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

利用率向上に意識を持ち、1日の訪問回数16回を目指します。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		軽自動車	1,100				
購入等合計	0	購入等合計	1,100	購入等合計	0	購入等合計	0

6. 収益事業の経営

1. オフセット・活版印刷事業

施設名 事業局

【ミッション】

お客様に喜ばれる印刷事業を目指します。

【行動指針】

- 1 他社との差別化を図る為にデザイン力の強化を目指します。
- 2 整理整頓で安全最優先の作業環境を構築します。
- 3 スケールメリットをいかした法人内事業としての物品販売事業の充実を図ります。

【重点項目】

◆ 人材の育成と職場環境の整備

局内でのミーティングを通じ、コミュニケーションを積極的に図り、心身とも健康で安心して働ける環境を構築します。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

・紙、資材、外注加工費の減額に努めます。
・オンデマンド機の活用で、カラー印刷物の受注増加を図ります。

【施設・設備整備計画】

(千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
カラーオンデマンド機	7,000						
購入等合計	7,000	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

2. 不動産賃貸に関する事業

- 1 富士見町駐車場 / 東村山市富士見町2-7-14
旧サンホーム跡地を活用し、駐車場として経営します。
- 2 原町ホーム土地賃貸業 / 新宿区原町3-8(原町ホーム敷地)
原町ホーム東側外構の一部を、隣接マンションの緑地帯として有償貸与します。
- 3 昭島病院駐車場 / 昭島市中神町1260
昭島病院敷地内で、来院者用駐車場を経営します。
- 4 南青山集合住宅賃貸業 / 港区南青山1-17-8
旧サンライズ青山跡地を活用し、集合住宅を経営します。(サブリース)

7. 社会貢献事業

事業名／内容	事業の実施場所
学習支援 昭島市社会福祉協議会と連携し、市内の生活困窮家庭の子どもの学習支援及び食事の提供を行います。 回数 月2～3回 日曜日 13時～15時 対象 小学4年～中学3年 定員 15名 講師 職員、学生等(ボランティア) 運営 母子生活支援施設・児童養護施設	フジホーム
地域見守り事業 配食事業とともに、地域ニーズに沿った交流会を実施します。	サンホーム
地域交流事業 介護予防教室、栄養教室、ランチ交流会等を実施します。また「福祉避難所」として、炊き出し訓練を実施します。「健康サロン」では、昭島病院の職員による健康チェック、健康体操等を催し、地域交流の場を提供します。	ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑、 昭和郷高齢者複合施設 さくらホール
利用者負担軽減 低所得者の利用料の負担を軽減します。	フジホーム、ニューフジホーム、原町ホーム、ゆたか苑、ひかり苑、昭島病院
なんでも相談事業 豊島区社会福祉協議会を中心に、参加する社会福祉法人により障害者の相談事業を実施します。	さくらんぼ
地域の子育て相談事業 育児相談「子育て仲間づくり・くじらっこ」、「児童館出前講座」を実施します。	昭島市児童センターぱれっと
防災拠点 昭島病院が東京都の「災害拠点連携病院」の指定を受けるとともに、地域の防災活動の中心として、防災拠点型地域交流スペースを開放し、各種講演会及び合同防災訓練を実施します。	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール

* その他、各事業所において施設機能を活かした各種相談事業や講習会等を実施します。

* 今後拡大充実することをさらに検討していきます。

8. 人材育成事業

事業内容	介護職員初任者研修(通信)
目的	介護の現場で働き始めて間もない方、またこれから介護の分野に携わろうとする方に向けて、介護の基礎的な知識・技術を習得する場を提供し、雇用の拡大、介護福祉士を目指す人材の育成を目的としています。
対象	介護の業務に従事しようとする方(職員含む)
期間	2020年9月～12月
内容	自宅学習 26時間 / 面接指導 104時間(17日間)
施設実習	14時間(介護実習 8時間 / 在宅サービス提供現場見学 6時間)
定員	12名
主な会場	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール / 昭島市中神町1260

事業内容	介護職員生活援助従事者研修(通信)
目的	生活援助中心型のサービスに従事する者に必要な知識等に対応した研修を行うことで介護の基礎的な知識・技術を習得する場を提供し、雇用の拡大、介護福祉士を目指す人材の育成を目的としています。
対象	介護の業務に従事しようとする方(職員含む)
期間	2021年1月～3月
内容	通学50時間+通信7時間
施設実習	2時間
定員	10名
主な会場	昭和郷高齢者複合施設 さくらホール / 昭島市中神町1260

Ⅲ 職員福利厚生制度ならびに職員研修制度

本年度の職員福利厚生事業、職員研修は、下記により実施します。

1. 永年勤続者表彰

10年勤続、20年勤続および30年勤続職員の表彰を実施します。

定年退職者表彰

定年退職前勤続10年以上の職員の表彰を実施します。

2. 人間ドック健診の実施

就業規則第2条第2項に規定した職員が、40歳、50歳、60歳になる年度に人間ドックを受診する際、その費用を助成します。

婦人科検診の実施

35歳以上の女性職員(社会保険加入)が婦人科検診を受診する際、その費用を助成します。

3. 福利厚生センター事業の利用

社会福祉法人福利厚生センターの福利厚生事業(ソウェルクラブ)に加入し、職員の福利厚生の向上を図ります。

4. 職員のメンタルヘルスケアへの取組み

EPA(従業員支援プログラム)に加入し、職員ならびに家族(同居)、退職者、復職者への支援カウンセリング等を行っています。

また、職員のストレスチェックを実施します。

5. 待機児童の一時保育室の利用

定員	5名
場所	昭和郷第二保育園 保育室「にほにこ」

職員の子ども(待機児童)を預かり、一時保育を行います。

6. 法人研修計画

研修名／内容	対象	時期
「基礎研修」	経験年数1～5年程度の職員	4月
<p>今後さらに活躍していただくためのコミュニケーションスキルを身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや理解と他者とのずれを調整し相互理解を高め、組織力向上につなげる。 ・表情や態度、言葉による自己表現の重要性を学び、広い視野による思考を学ぶ。 		
「メンタルトレーニング研修」	新規採用職員及び管理職候補職員等	4月
	経験年数2～3年の職員	10月
<p>スポーツドクターによる独自の「FLOW理論」を学び、日常や業務によるストレスサーに対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用スポーツ心理学とフローライフスキルの基礎を理解する 		
「中堅研修」	経験年数5年以上の職員	5月
<p>管理職と現場の架け橋となるスキルを身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深めと対人援助能力向上を目指し、フォロワーとしての役割を実践する。 ・コミュニケーション力、仕事の管理力、リスクマネジメント力の3視点を強化する 		
「上級研修」	経験年数10年以上の職員	5月
<p>リーダーシップの発揮とメンバーとの関わり方の基本を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部下と適切な距離を保つ、強いリーダーがとるべきコミュニケーションスキルを学ぶ。 ・個別ケースを想定したロールプレイにより実践力を習得する。 		
「自己能力向上研修」(共有型リーダーシップ研修)	経験年数10年以上の職員	6月
<p>シェアド・リーダーシップを発揮するための意識醸成とスキル習得を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識変容を促し、自己理解から他者理解力を高め、相手を動かす伝え方を実践する。 ・チームの自主性を発揮させる関わり方を理解し実践する。 		
「リスクマネジメント研修」(課題別)	一般職員等	6月
<p>社会福祉事業におけるリスクを、体系的に整理された考え方や手法で学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントが組織に必要とされる背景、考え方及び実践方法を理解する ・自職場のリスク分析や対応策を検討し、危機管理意識の向上を図る 		
「OJTトレーナー育成研修」(課題別)	一般職員等	7月
<p>育成役として期待される3つの機能と、その機能を発揮するために必要な5つのスキルを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部下後輩の指導・育成役として期待される能力を高める ・指導・育成に対する自身の考え方(特徴や傾向)を理解し、マインドセットを図る 		
「プレゼンテーション能力向上研修」(課題別)	一般職員等	9月
<p>様々な発言の場でのコミュニケーションスキルを学ぶとともに、プレゼンテーションの実践を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に納得感を与え、惹きつけられる伝え方を習得する ・自身のプレゼンテーションスキルの課題を知り、具体的改善に繋げる 		

研修名／内容	対象	時期
「ハラスメント研修」(課題別)	一般職員等	9月(半日)
<p>ハラスメントのない職場づくりのために必要なスキルを理解します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントの概念を理解し、職場への影響力の大きさを再確認する ・職員がハラスメント防止の意識を持ち、風通しの良い職場環境を意識する 		
「管理職候補者研修」	2018年度管理職試験に合格した職員	5、11月
<p>2018年度管理職試験合格者の2年目の研修として、法人内研修を行うとともに、経営者としての知識(人事管理・経営管理)についての研修を行います。</p> <p>この研修を通じて、施設経営に関する実践的ノウハウを学び、管理職昇任に備えます。</p>		
「新任フォローアップ研修」	新規採用職員	10月
<p>変革の時代のビジネスパーソンに求められること、半年間の職場生活の振り返り、次のステップへ向けた目標の設定など、フォローアップと合わせて研修します。</p>		
「施設長研修」	施設長および管理職等に準ずる職員	11月
<p>労務管理、組織改革等に関する研修を行います。</p>		
「人事考課研修」	施設長及び1次考課者の職員	11月
<p>人事考課の適切な運用を目指し、人事考課者への研修を行います。</p>		
「海外派遣研修」	副主任以上の職員(2名程度)	10～12月
<p>諸外国の先進的な取組みを実地で体験し、本会の福祉サービスの向上に資するために、海外派遣研修を実施します。</p>		
「新規採用プレ研修」	次年度新規採用予定者	1月
<p>本会の理念、特色等を学びます。</p>		
「新任研修」	新任採用者及びそれに準ずる職員	3月
<p>ビジネスマナーの基本、仕事の進め方、報告・連絡・相談、質の高い仕事をするためのコツについて研修します。</p>		
「庶務担当研修」	庶務担当職員	随時
<p>法令改正、年末調整等の理解を深めます。</p>		
「経理担当研修」	経理担当職員	随時
<p>経理事務の理解を深めます。</p> <p>規程、関係通知に基づく正確な経理事務、業種別の月次、決算の実務を学びます。</p>		

グループ別研修計画

グループ別に、年3～4回ほど、各テーマを定め専門的な課題の研修を実施します。また、グループ内だけでなく、他業種、他施設での研修を通して、連携を必要とされている異業種の理解を深めるとともに、職員の視野を広げ、その資質の向上を図る目的で、各グループ間交流の研修会も実施します。

・高齢者支援系

研修名／内容	対象	時期
「新任職員研修(フレッシュマン研修)」 利用者にとって望ましい介護とは何か、現場から説き起こす介護の実務と倫理を学びます。	新任介護職員	7月
「中堅職員研修」 質の高い人材、質の高い介護を目指して認知症ケア等の介護技術研修を行い、介護職員のスキルアップを図ります。	現任介護職員	9月
「介護職員初任者研修」 本会の職員が講師となり、地域貢献の一環として、広く地域の介護人材を養成します。	地域住民／無資格介護職員	10～12月
「現任職員研修」 外部講師により、ケアの向上に資するようなテーマで講義を行っていただき、実際のケアの振り返りを通してその向上を図ります。	全職員	12月
「新任職員フォローアップ研修」 1年間の振り返りを行い、今後の目標を定めます。	新任介護職員	1月
「施設間交換研修」 本会の他の施設の取組みを学ぶ中で、職員の資質向上およびモチベーションアップを図ります。	全職員	随時
「他法人交換研修」 他法人での介護業務を経験することで、自施設のケアの向上に寄与するような学びを得ます。	全職員	随時

・障害者支援系

研修名／内容	対象	時期
「新任職員研修」 基本的な接遇マナーを学び、ビジネスマナー、コミュニケーション技法を習得します。 グループ内の各施設を見学して事業を理解し、本会の組織の一員としての自覚を養います。	新任支援職員	5～7,10月
「管理職候補者人事交流研修」 管理職候補者が、自施設とは異なる事業経営の施設実習を経験し、グループ全体の事業経営を理解します。	管理職候補者	10～2月
「全体職員研修」 専門知識の習得と支援力の向上を図ります。	全職員	10～11月
「中堅職員研修」 本会及び他法人の、特色ある事業を展開している施設を見学し、自施設でのリーダーシップを発揮した取組みへと反映します。	リーダー層の職員	随時
「施設間人事交流研修」 本会または他法人での研修を通じて、職員の資質向上と人材育成に努めます。 特に中堅職員を中心に、今後の基幹職員の育成の機会とします。	中堅層の職員	随時

・保育支援系

研修名／内容	対象	時期
「保育園におけるリスクマネジメントについて」 職員一人ひとりの危機管理についての意識が高められるようにするとともに、保育園における基本的な危機管理を学びます。	全職員	4月
「子どもの育ちと保育について」 子どもとのかかわりの中で、子どもの生きる力を伸ばし、一人ひとりの気持ちに寄り添い丁寧な保育ができるように学びます。	全職員	2月
「グループ内交換保育研修」 グループ内施設での研修を通して、職員の資質向上と人材育成に努めます。	全職員	随時

・児童・女性支援系

研修名／内容	対象	時期
「記録の書き方研修」 「記録の取り方マニュアル」に沿った適切な記録の仕方を学び、自立支援計画に即した支援の実践と、求められる福祉人材の育成を図ります。	新任職員	5月
「ハンディキャップを持つ子どもの性」 発達障害やハンディキャップを持つ子どもの性の特性を理解し、適切な養育支援に繋がります。	全職員	6月
「支援力向上研修(見立てについて)」 新任職員や経験年数の少ない職員に向けて、見立ての基本、利用者面接の際の留意点や気づきについて学びます。	経験年数1～3年の職員	7月
「発達障害研修」 専門知識を深める研修として、おとなと子どもの発達障害に関して、正しい知識と対応を身につけます。	全職員	10月
「グループ内施設間交流研修」 グループ内の業種の違う施設で研修を行い、連携している3業種の理解を深めるとともに、職員の視野を広げ、自施設へフィードバックします。(3日間程度)	全職員	随時
「グループ外施設間交流研修」 グループ外の施設で研修を行い、他職種連携のための情報共有等を学ぶことで、職員の視野を広げ、自施設へフィードバックします。(3日間程度)	全職員	随時

IV 理事会及び評議員会

定款の定めに従い、下記の理事会、評議員会を開催します。

1. 理事会

開催予定	主要議案
2020年 6月	前年度事業報告、決算報告承認／社会福祉充実計画承認
2020年 10月	補正予算承認
2021年 2月	施設長等人事／最終補正予算承認
2021年 3月	次年度事業計画、当初予算承認
臨時開催	事業運営の必要に応じて開催

2. 評議員会

開催予定	主要議案
2020年 6月	(定時評議員会) 前年度事業報告、決算報告承認／社会福祉充実計画承認
2020年 10月	補正予算承認
2021年 2月	最終補正予算承認
2021年 3月	次年度事業計画、当初予算承認
臨時開催	事業運営の必要に応じて開催

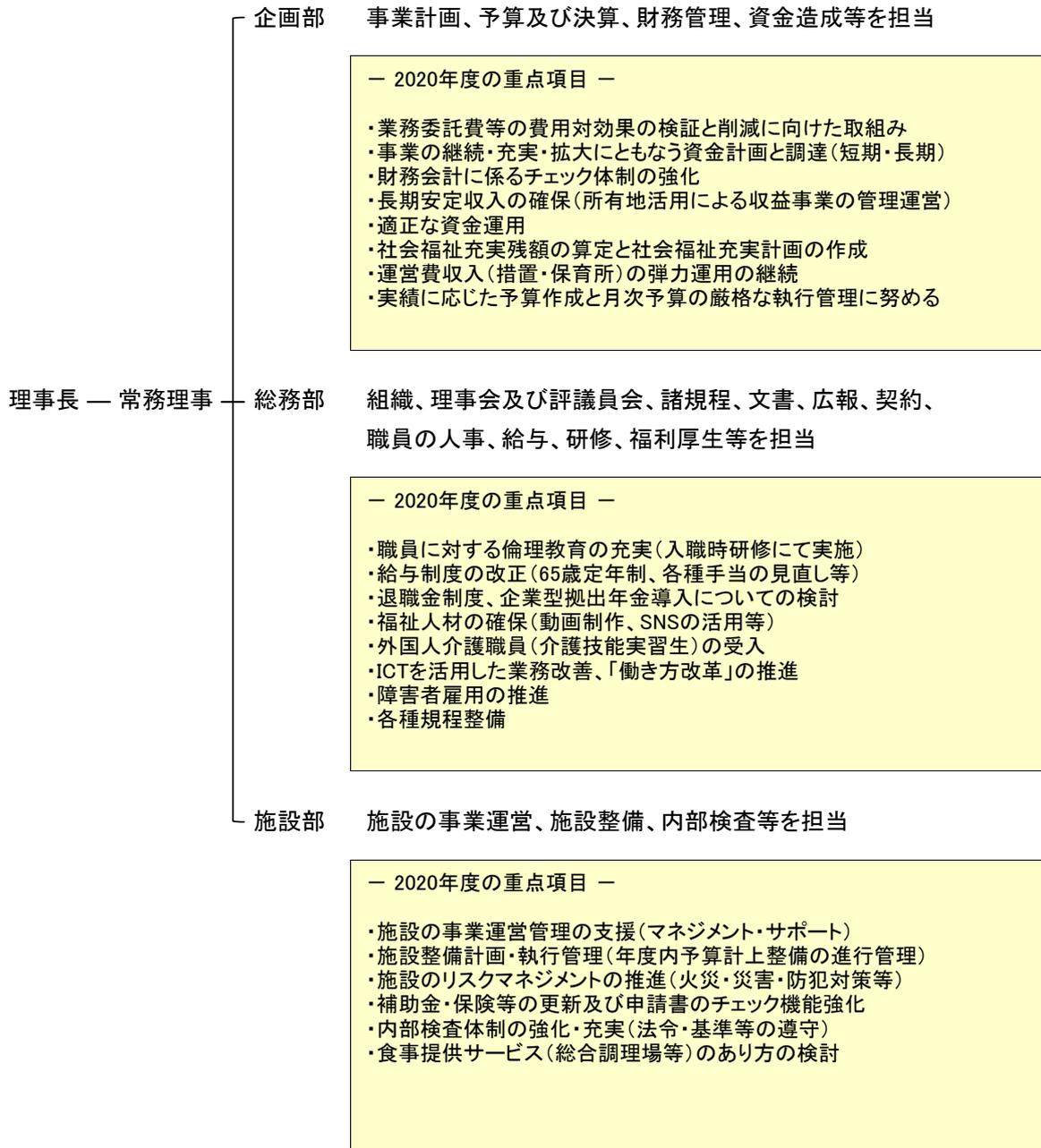
3. 理事・監事・評議員 (2020年4月1日現在)

理事長	飯山 幸雄			
常務理事	中島 昭			
理事	多久島耕治	小林 一己	品川 卓正	菅原 眞廣
	宮崎 牧子	上原 淳	岡本 勝巳	
監事	鈴木 道生	岩井 令雄		
評議員	古屋 正義	小山 寿	五十嵐力平	本山美八郎
	田中 幸子	川向 良和	比留間由真	堀 茂
	岡橋 生幸	飯村 史恵		

V 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、本会全体に関わる各種業務の円滑な執行を図ります。

1. 組織（2020年4月1日現在）



2. 内部検査

施設、事業所の運営について、経理規程の定めるところを中心とした、事業全般にわたる内部検査を行います。

VI 施設長会及び各種委員会

本会組織規程に基づき、施設長会及び下記の委員会を設け、それぞれの運営要綱の定めにより、理事長の諮問に答え、あるいは理事長へ意見具申することにより、本会の事業の適正な経営に資するものとします。

1. 施設長会

本会の事業全般にわたる事項について、情報交換し、意見を述べ、事業の実現に向けた協力並びに活動を行い、本会の事業の推進の中核的役割を果たします。

－ 2020年度の重点項目 －

- ・2020年度の法人全体の運営状況を共有し、透明性の高い組織体制を構築します。
- ・各拠点事業所間の連携強化を図り、安定した組織づくりを行います。
- ・新型コロナウイルス対策等、事業継続に必要なあらゆるリスク管理に努めます。

2. 総合企画委員会

本会の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議し、理事長に意見具申します。

－ 2020年度の重点項目 －

- ・中長期計画の目的と位置づけを明確にして、2020年度における実行可能性と継続性を高め、法人経営の自立性や自主性のさらなる向上を目指します。
- ・中長期計画の見直しを行います。
- ・事業を継続して、効果的かつ適正に行うため、2020年度にわたって計画的な進行管理を行います。

3. 人事委員会

施設の幹部職員の任用・降格、職員の表彰・懲戒、採用、人材育成等、人事に関する必要事項について審議します。

－ 2020年度の重点項目 －

- ・隔年に行う管理職試験により選ばれた候補者を対象とした研修を行うことで法人や施設運営を担う人材を育成します。
- ・法人内研究発表や施設、法人に貢献した職員の表彰を行います。
- ・倫理教育を行うとともに規程や規則に違反した職員の処分を行います。

4. 規程整備委員会

本会の組織、人事・給与及びその他諸制度に関する規程について、検討し整備を行います。

－ 2020年度の重点項目 －

- ・給与制度の抜本的な改正について制度設計を検討します。
- ・人事評価制度について検証します。
- ・未整備の規程について順次作成します。

5. 人事考課評価委員会

職員人事考課規程に基づき、人事考課に疑義があると判断された場合において、評価が公正かつ的確に行われているかの審査を行います。

6. 研修委員会

施設長、幹部候補職員、中堅職員、事務職員、新任職員等本会の職員の研修に関し、その企画、実施に当たります。

－ 2020年度の重点項目 －

- ・法人のキャリアパスに連動した研修計画により、職員の資質向上を目指します。
- ・すべての研修は、専門の講師により丁寧な指導を行い、質の高い学びに繋がります。
- ・学びの実践はPDCAにより行われ、セルフエスティーム(自己肯定感)とモチベーションの向上に繋がります。

7. 広報委員会

「同援だより」の発行、本会のホームページの更新等、本会の広報活動に関し、その企画、実施に当たります。

－ 2020年度の重点項目 －

- ・透明で開かれた法人運営の一助として、「同援だより」「同援通信」などの発行、その他、広報活動を行います。
- ・広報誌「同援だより」は年2回発行。本会の事業を東京都をはじめ地域自治体や学校関係者、各関係団体、後援会会員、利用者等に広く紹介していきます。
- ・「同援通信」は年3回発行。職員のワークスタイルやライフスタイルの紹介、新人職員の声や職員へのアンケート結果など、本会の全ての職員へ伝えていきます。

8. リスクマネジメント委員会

防災・減災、システムの安全管理の他、施設の経営管理上、多角的な視点でリスクを特定し、損失の回避、低減を図るための対策を講じ、啓発や対策指針案の策定を行います。

－ 2020年度の重点項目 －

- ・様々なリスク(ガバナンス、災害、感染症など)を集約・整理し、組織としての方向性・具体的対策について検討するとともに、各事業所における危機管理意識を高め、リスク機能の強化を図ります。
- ・所有する自動車を安全に管理し、利用者・職員が安心して使用できるように、専門家による講義を実施します。
- ・各グループ等からの提案や検討課題を即時性を持って取り上げ、解決に向けた対策を講じます。

9. 情報システム委員会

情報システムの適切な運用に関する推進を行います。

－ 2020年度の重点項目 －

- ・情報セキュリティシステムの稼働により、情報漏えいや改ざん・消失などを防止し、安全かつ適切なIT機器の運用を行います。
- ・各施設のシステム責任者及び担当者への説明会を実施し、管理体制の強化を図ります。
- ・情報セキュリティのリスクを適切に管理するため、ITコーディネータ及び専門業者との連携を強化し取り組みます。
- ・業務の都合により個々に導入してきた各情報システムのあり方を見直します。

10. その他

上記の他、必要に応じ委員会等を設け、本会の事業の適正な経営に資します。